京城日報

四日夕刊

定價 本紙一部金五錢 一ケ月金五十五錢
廣告料
發行編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

◎獨潜航艇戰通牒要項

伯林來電に依れば、獨逸政府は無制限の潜航艇攻撃を行ふことに決し駐獨米大使ゼラード氏に通牒を交附したり其の要項は二月一日より潜航艇攻撃を實施すべきにより米國政府及び各中立國政府は別に規定したる戰鬪區域に入らざる樣其の船舶に警告することゝ其の國民及び貨物を該區域内を通行せんとする船舶に搭載せざる樣警告することを要求したり(紐育電報)

◎米獨の國交危殆

八日に最後通牒發送か

華盛頓來電＝獨逸との外交斷絶は最早避け難きものと一般に觀測され居れり獨逸大使も既に其覺悟を定め居れりされど米國は直ちに外交斷絶を爲す事無く多分二月八日中に最後通牒の實質を有する通牒を送り五日乃至六日の期限にて返答を要求す可し國務卿は大統領の命に依り二月一日正午迄に二部の草稿を作製し午後白堊館に至り大統領と一時間に亙り會談したり大統領は目下其草稿を仕上中なり(紐育電報)

▲獨逸汽船抑留準備

米國海軍は既に萬一の準備として米國の諸港に在る獨逸の汽船を抑留する準備を爲し又潜航艇に對し有効なる可き自動艇の動員に就き研究を開始し同時に封鎖區域内に於ける商船護衛方法に就き研究を開始したり獨逸汽船は萬一の場合出帆或は爆沈せんとする虞あり目下嚴重に監視し居れり既に開戰以來チャールストンに碇泊し居りし獨逸荷物船リーデンセルス號は獨逸通牒發表と同時に原因不明の沈沒を爲したるが乘組員が故意に爲したるものと解せらる一部には同所の軍港に妨害を與へんが爲めなりと言はれ居れり紐育港の出船停止は四日解除されたるが米國政府は歐洲の旅客の旅券交附を停止し何時解禁するや判明せず(紐育電報)

▲米國は危機に瀕せり

獨逸の潜航艇戰再開通告に關し歐洲各國及び米國よりの電報は總て中立國の憤慨と米國の憤慨を告げざるは無く米國は之が爲め危機に接し居るが如き狀態也(東京電報)

◎米獨國交斷絶

倫敦電報に依れば米國政府は獨逸との外交關係を斷絶したり(東京至急報)

◎獨帝退位要求の宣言

南方獨人教會は國家の運命を救はん爲現皇帝の退位を要求する宣言書を發したり(倫敦電報)

◎東京醫師會の活動

北里博士を會長とせる東京醫師會は這回全國各醫師會に對し理事の上京を促がせり(東京電報)

◎堺氏演說解散

三日夜に於ける堺枯川氏の立候補政見發表演說會は其筋よりの解散命令に接し聽衆中甚だ激昂する者あり一時は大騷擾を惹起せるも警察官憲の警戒に依り辛うじて事無を得たり(東京電報)

◎北滿銀行破綻

整理中なりし長春北滿銀行は數萬圓の損害の爲め種々奔走中なりしが遂に恢復の運びに至らず愈五日を以て解散する事となれり(長春特電)

◎小宮氏釜山通過

前李王職次官小宮三保松氏は三日午後七時著列車にて釜山著同八時三十分出港連絡船さくら丸にて東京へ向ひ通過したり(釜山特電)

◎支那鐵道好績

支那國有鐵道は昨年來鋭意革新に著手中なりしが最近交通部許總長より政府に提出せし報告に據れば支那國有鐵道民國五年度の成績は之れを四年度に比せば京奉線二百二十五萬元京漢路線四百十九萬餘元京綏線二十八萬餘元浙江線七十九萬元津浦線二百十七萬餘元總計九百六十八萬元の增收なりと(北京)

◎事件解決と奉天

日支親善會發起

鄭家屯事件交涉解決に就き日本の誠意ある推讓を感謝し今後經濟的提携より永久確實なる日支親善の增進を謀らんと欲するの氣運隆然として起り居れり最近奉天支那側各界有力者等は解決案各條項の完全履行及び日本兵撤退後に於て日支各界を網羅する日支親善會を設立せんと計畫せるが其主旨は左の如き者なり

▲滿洲支那國民間に雜居する日本在留民は法律規定を除くの外皆誠意を以て相處する事

▲支那國民は一切の誤解を釋明するの義務ある事

▲支那官紳は日本國民に對して危害及不適當の事ある時は之れを保護する事恰も本國國民に對すると異なる所なき事

▲日支兩國民間の法律に由るの行動に對しては兩國均しく加ふるに保護を以てし若し果して法律に違反せば兩國は均しく之れを拒絶する事例令へば支那側に於ける匪徒犯又は詐僞取財犯が第三者の土地及商業を傷害する場合に於て已に日本人と訂約せる時と雖も日本人方面は其事情を査悉し之れを拒絶す可し又支那方面に於て此種奸民ありて日本方面が已に損害を受けたるを發見する時は必ず此種奸民をして其相當なる賠償を

▲兩國々民間の交際及び營業は務めて一定法律の下に於て以て今後に於ける誤解糾紛の再發を防止する事

上記計畫に對し東三省公報は評すらく近來中日邦交は一次の打擊を經れば必ず一事の親善を表す中日新約解決後邦交親密の聲は吾人の耳鼓に絶えず今鄭家屯交涉終結して我奉省又中日親善會の擧あらんとするは一に一次交涉の發生を經れば必ず一次の親善を表す可き者の如し其れ中日は兄弟の邦交なれば其睦友の誼を敦ふす可きは缺ぐ可からざるの事たり唯だ兩方面此より互讓の精神を以て實際の友誼を爲さば寧省の前途、中日邦交の前途に於ける實利は皆之れに賴る可し云々(奉天)

◎朝鮮大阪貿易

一月下旬に於ける朝鮮對大阪貿易は移出三百零二萬九千圓移入百五十萬九千圓にして差引百五十二萬圓の移出超過を示し更に金銀貿易に於て八萬七千圓の移出超過となり居る爲め出超累計百六十萬七千圓を算せり尚ほ一月上旬以降の累計は移出六百八十八萬五千圓移入四百三萬九千圓にて出超二百八十四萬六千圓に及び之れに金銀貿易の出超八十八萬三千圓を加ふれば三百七十二萬九千圓の出超となる由

◎平壤貿易三割增

平壤一月貿易額は昨年同期に對比して若干の增額を見るべきは既に報道せる處なりしが果せる哉約三割の激增を示したり即ち之を比較對列すれば如左

	本年一月	昨年一月
輸移出	三、三七五	七、〇八一
輸移入	二五二、三六七	一八八、三三〇
合計	二五五、七四二	一九五、四一一

尚ほ輸移入が昨年同期より激增を示し居るに拘はらず輸移出の減少を見たるは異に輸移出貿易の不振に依るに非らずして實は輸送力の不足に伴ふ滯貨の故障に因り全然牛皮大豆牛骨等の出荷の不可能に陷りたるは確實の事實なり而して角貿易總額に於て比較激增を見たるは昨冬來の市況は依然として殷盛を持續するものと云ふべし(平壤)

◎新移民規則

東洋拓殖會社より總督府に認可申請中なる同社新移民規則は目下關係部課にて審議中なるが多分五六日中に認可の指令ある模樣なりと

◎朝鮮水産總會

朝鮮水産組合總代會は既報の如く去る一日より釜山同組合事務所に於て開會したるが愈よ二日より本議に移り同日午後二時より香椎議長以下議員十七名出席陪席官及び理事者一同著席第一號議案大正四年度組合經費收支計算報告あり議員の質議に對し大原組合長の辯明ありたる結果議長の指名にて五名の調査委員を舉げ調査する事となし次に第二號議案大正四年度組合業務成績報告の件、第三號議案大正四年度製氷所業務成績報告の件は第二讀會に移すことゝなし第四號議案大正五年度組合經費收支追加豫算の件を附議したるに是亦十一名の調査委員附託となり第五號議案救濟積立金の件は異議なく決定第六號議案大正六年度經費收支豫算は異議なく第一讀會を終へ第七號議案大正六年度豫算附帶決議の件は讀會省略可決せり第八號議案同道支部長選擧の件は前期總代會以後缺員の儘となり居りしに各道長官の選任せし咸鏡北道田保和市、慶尚北道高橋重見、京畿道吉崎健太郎、平安北道中西指吉の四氏を支部長として選擧の件は總會に於てなすべしとし第九號議案家屋賣却處分に關する件(黃海道夢金浦稅關監視署管理地内建設の組合有家屋七十三坪八合)第十號議案土地讓渡處分の件(慶尚南道東萊郡採張面太邊里在の組合有砂濱地百八十坪九合六勺)第十一號議案土地讓渡處分の件(慶尚南道固城郡補衛面壯左洞在の組合有畑地五百二十七坪餘)は何れも可決確定せり、次回は三日正午より開會第十二號議案支部位置變更の件、第十三號議案官有建物讓與の件を議決し次で決議案第一號鎭南浦の製氷庫冷藏庫並に浴場建物讓受方の決議及び同第二號の實行を要望するの件を附議したるも全部議決するに至らず午後一時より委員會を開きたりしが四日は前日に引續き豫算及び決算委員會を開き期日たる五日內には議案全部を決定終了の筈也(釜山)

◎陸宗輿氏出發

在京中なりし前駐日公使陸宗輿氏は四日午前八時三十分南大門驛發列車に搭乘東京へ向へり驛には久水外事課長支那總領事官員其他の見送りありたり

【仁川】

▲穀物業者と鐵道　仁川穀物業者は過般來より鐵道局に向け大豆輸送上貨車の配給を交涉中にて三日の如きも穀物協會樓上に同業者參會善後策を講じたる由なるが此れに就いて某當業者の談を聞くに鐵道局にては曩に穀物業者に多大の責任條件を負はせて特定運賃に依り大豆の輸送を實行する事となりたるも其後貨車の配給充分ならざりし爲め同業者は折角の特約も事實上に於て有名無實となり此れが爲め蒙りたる迷惑は少小にあらざりき勿論昨年來以來の滯貨は未曾有の額に達したると連絡船及び山陽線の輸送上の缺陷は鮮鐵の能力を充分に發揮せしむる上に於て多大の障碍たりし事に就いては當局者の苦衷の存する所を諒とするも斯て荏苒自然の成行に任すが如き事あらば當業者は商機を逸し資金の運轉に困しみ徒らに倉庫を充たすのみにて其不利益一方ならざれば此際鐵道局に向つて貨車の配給を交涉し特定運賃協定の效果を事實上に擧げんとするにありと語れり▼薪炭類入荷多し　一時缺乏を告げたる結果薪炭類は價格の四倍に達したる薪炭類は需要も漸く窮屈し上に極めて需給なる爲め入荷漸々多し相場も下落一方なり▲寒氣と鰡漁　仁川近海に於ける冬期間の漁業として鰡漁盛んに行はれつゝあることは既報の如くなるが從來の經驗に徵し鰡網は寒氣激しく鰡の遊泳自由ならざる場合は漁獲多かりしが本年は稀有の酷寒にて鰡漁には絶好の折柄なりしも流氷烈しき爲め船の操縱危險にして從漁する事を得ず水揚成績は從漁者の豫期せしが如く良好ならざりし

【忠州】

▲警務部長告別　明治四十三年以來淸北道警務部長として八年の久しき公職に盡瘁し道内鮮人敬慕の中心たりし櫻井憲兵中佐は這回久留米憲兵隊長に轉補され來る十日頃出發赴任の筈なるが隊長は告別の爲め特に二日午後三時來忠出迎への爲め路上に堵列せる官民及び消防組に對し告別の挨拶を述べ忠州憲兵分隊にて懇篤なる訓示を授け午後四時隊署長會議に列席すべき有馬忠州分隊長、小田丹陽分隊長、松田堤川警察署長を隨へ午後四時發自動車にて歸署せり

【木浦】

▲客月貿易額　當港一月中に於ける輸移入貿易額を聞くに輸移出額四十五萬八千五百七十一圓輸移入額十八萬四千三百九十七圓合計六十四萬二千九百六十八圓にして之を昨年の同期に比すれば輸移出に於て二十八萬八千八百五十一圓の激減輸移入に於ては殆んど伯仲し僅に千六百七十圓の增加差引二十八萬七千百八十一圓の減少を來せるが之れ本年一月に於ては米穀移出に於ては大差なきも綿の移出に於て略ぼ半減せるに依るものなりと▲客月稅關收入　當稅關支署に於ける一月中の稅關收入は酒稅三百十八圓移出稅九百七十四圓輸移入稅一萬二千三百六十二圓噸稅八圓諸收入三百九十二圓合計一萬四千〇五十四圓にして之を前月に比すれば千三百七十七圓の減少なりと▲一月木浦檢米數　一月中の木浦檢米は受驗總數七千七百六十二叺內優等六十三上格六百九十二下格六千九百九十七不合格一〇再調三三八にして當月は米價下押の爲め出廻り減と天候不良の爲め調製日數少なかりしに依る

【平壤】

▲組合豫算會議　大正六年度平壤學校組合歲入歲出豫算會議は既報の如く二日午後一時より府廳樓上に於て開議し當日は本田管理者より豫算大體に關する說明ありて散會を告げ翌三日午前十一時より繼續し讀議に移りたるが多分原案通り可決すべき模樣なり六年度豫算中の新事業とも見るべきは驛前居留地の高等小學校增築にて即ち八千五百十一圓を投じ四學級を收容の二階建一棟を新築するにありて他は自然の增加に基くものなり六年度は前年度に對比し歲入出七千九百二十圓の增加なるが之れ主として增築學校の存する爲めなり斯て當局は此增加額を過日の組合會議に於て決議したる授業料の値上げ其他の自然增收に依りて歲入出の均衡を圖る方針にして同時に其補助問題に關し六年度に於て左の金額を國庫補助に仰ぐべく議案を提出したり

▲高等女學校補助　金二千五百圓
▲歲入不足補助　金一萬一千四十七圓
計　一萬三千五百四十七圓

尚ほ五年度より六年度への繰越金は四千餘圓なりといふ▲運送會社計畫　平壤の發展に伴ふ出入貨物の激增は比較的大規模にて完備せる運送事業の成立を要求して已まざるが夙に二三有志も斯點に顧慮する所あり今回資本金十萬圓、第一回拂込四分の一の設計にて運送株式會社を創立すべく協議中のところ愈々具體的進捗を見るに到りたれば近く發表すべく發起人は廣田、夏目、吉見其他の諸氏なり平壤には現在に鮮人の運送事業を經營し居るもの乏しからざれど何れも小規模に過ぎざれば從つて運送機關の完備を期し難き憾みあれば前記の如き株式組織の會社事業は大に歡迎すべく之れが成立の曉に於ては貿易商を始め一般取引者に取りて有利なるは言ふまでもなかるべし▲墓地火葬場使用改正　平壤府は府協議員會の諮議を經總督の許可を得て墓地及び火葬場使用條例に改正を行ひ來る六日より施行する事となり改正の要點は一、二等火葬料を値上げし三等は据置き四等の無料は從來の如くなるも同時に墓地坪數に制限を加へ即ち一等五坪、二等三坪、三等二坪等となせり

【鎭南浦】

▲木炭暴騰　稀有の寒氣に際會せるため木炭の需要激增し從來九月に於て賣高の最高を保たれたるものが本年度は一月に於て昨年の一月十貫七十八錢を唱へたるに比し本年は一圓六十錢と云ふ爆發相場を現出し居れり聞くが如くんば產地の民林は最早伐採し盡くされたれば官林の拂下を受くるに非らざる限り今後は內地より移入を仰がざる可らずと▲新年宴會　久原製錬所は三十日趣向を凝らして官民三十有餘人を招待したるが李會議所副會頭は四日朝日館にて四十餘人を招き賀宴を張る▲西崎氏と鑛業會　同會設立の爲め原動力となりて活動中の西崎鶴太郎氏は四日東上の途に就くべく聞く處に依れば同會は基本金七萬圓年額五千圓の費用を以て鑛業界に貢獻すべしと▲堆貨漸く減少　一時十八萬叺の滯貨を示し全鮮首位に在りて關係各方面苦惱の焦點たりしが結氷以來昆下りの內地相場を享けて輸送中止され春待ち見送りとなれるものもあり一方鐵道の好意により貨車の配給順調となりし關係もあり一月末に於ける其總數は七百噸に減少せり

間島通信

▲間島問題の消息　一昨年締結したる日支新協約の實施に臨みて間島問題は端なくも突發し遂に中央の懸案となりたるも其後鄭家屯事件等其累を及ぼし同交涉は一時休止の狀態にて以來未解決に推移せるが近來支那側の消息によれば間島交涉事件は北京の局者の間に進行を期す事となり同問題一切は東京に移されたりとの噂あり▲驚くべき牛疫の累　牛疫は間島年來の厄介問題にして年々同疫の爲めに斃る畜牛少からず今其筋の調査によれば大正二年は百五十頭三年は四百五十頭四年は二百五十頭五年は六百五十頭の斃牛を算し昨年のみにても此損害二萬餘圓に相當せりと而して同損害は主として間島移住鮮人の畜牛に屬するものにして牛族を唯一の財產動力とする從農移住鮮人の打擊は實に豫想外にありと▲在鄉軍人會生れん　五百餘名の邦人在留者を有する間島にありて未だ在鄉軍人會の組織を見ざるは一の缺陷にして物足らざりし折柄這般此の議は勃興の狀を呈し其筋の注意によりて氣勢を昂め愈々龍井村在鄉軍人會は組織さるべき氣運に向ひ目下着々步を進めつゝあるが或は間島を網羅するか單に龍井村獨立の同會となすか其邊は未定の由なるも兎も角同會の成立を見んとするは欣ぶべし而して現在龍井村にても約二十名の在鄉軍人界中將校は二名を有し間島病院長野川醫學士は豫備一等軍醫の軍籍を持し在鄉軍人中の上位にあれば同氏は無論會長たるべく次いで一年志願兵の出身にて豫備少尉の軍籍にある猪口某氏副會長たるべしとの說あり

◎奉天より

▲排日檄文來る　鄭家屯事件解決せる今日此頃に及びて一時物議を釀したる東三省公民會の發したる對日檄文間島に現はれたり同檄文は活版刷の小冊子にて其體容は從來ありふれたる支那式檄文に張り加へ詳細を極めたるものにて全幅自國の利を主張したるものなりと

▲督軍署秘密會議　奉天督軍公署に於ては去る三十一日より每日張督軍は傅聯甲、馬、吳兩鎭守使、湯、孫兩旅長、揚參謀長等を會して絕對的秘密會議を開きつゝあり其內容は不明なるも日支交涉案中日支商定事項の實行辦法に就きては去る二十九日の國務會議に於て討論され其結果は直に北京より張督軍の許に通告されたれば該會議は主として之れに關する者即ち五條項の實行方法に關する北京政府の訓令に對して協議するを主眼とし此他地方防務に關する重大なる打合せもある者なりと云ふが更に精探を待たん

▲張督晉京不許可　奉天督軍張作霖氏は去る二十八日又復晉京の上黎大總統に謁見し要政に就き開陳したき旨電請せしも總統は來京に及ばず又事故ある每に電陳するは其都度代表者を上京せしめ親しく陳述せしむべしと復電し來れり

▲中央政府送金額　奉天省の對中央政府政費保助送金は數年來完納せざる爲め舊臘及び去月財政部より詰責を受け王財政廳長は奉省財政難の事情を縷陳し更に今六年度の送金額は民國四年の實收數を標準として煙草稅十八萬八千元營業許可稅八萬九千元鑛稅一部一萬五千元印紙稅(郵便局及び銀行より發賣し直接財政部に送附する者を除く)八萬元計三十七萬二千元は六年一月より實任を以て每月割額を送附すべき旨を答したり

▲黑龍江開埠要求　露領に連接せる黑龍江沿岸の商業は日に發達し來れるを以て駐支露國公使は同江沿岸地方を商埠に開放せん事を北京政府に要求し該政府は黑龍省長に沿江一帶の調査を命じ且つ其意見を徵したり

人事消息

▲武藤文吾氏(江原道第一部長)　四日朝入京尾崎館へ
▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭)　同上
▲マーテン氏夫妻(鐵嶺)　同朝鮮ホテルへ
▲久我新視氏(朝鮮銀行元山支店長)　四日朝退京
▲望月龍三氏(朝鮮血清製造所長)　三日朝釜山發內地へ
▲生田清三郎氏(總督府水產課長)　朝鮮水產組合へ出席の爲め三日朝著釜大池旅館へ
▲國枝博氏(總督府技師)　三日夜內地より歸任

内地から朝鮮へ、滿洲へ、支那へ、歐羅巴へ！歐羅巴から、支那から、滿洲から、朝鮮から、内地へ！何方から何方へ行くにしても下關から釜山、釜山から下關、朝鮮海峽百二十七浬の波の上に十時間は過さればならぬ、あの連絡船の船室に立ち迷ふスチームとペンキの匂と嗅いで釜山の埠頭に下り立つた程の人は大陸と本土とを繋ぐ新日本の大動脈の搏動の永へに健かに活潑にそして安全ならんことを希ふたであらふ　さるにても、霧、風、雪、浪、冬將軍の暴ろしまゝに此頃頻々として續出したる連絡船の故障は我等をして此大動脈に就いて暫らく考へしめるものではあるまいか

▽關門海峽は世界の難所

暗礁、急激なる潮流、放埒なる帆船の流航
歐洲航路一萬噸以上の船舶は下關碇泊を廢す

▽下の關の背面に鐵道を延長して之に連絡設備を施す可し
倫敦ドヴァア鐵道延長の活例

連絡船新羅丸船長　松原善之助氏談

連絡船問題を研究するに方つて下之關釜山兩港の繫船場設備に就いて述ぶ、連絡船々長としての從來の經驗より余に意見を述べよとのことであるが下の關の繫船に就ては大に語るべき意見がある

◇馬關海峽は　世人も知る如く世界中に於て航海業者の最も難所とせる場所で急激の潮流に加ふるに四邊に暗礁があつて絶えず海難の厄に逢ひ今日では同港は繫船の地にあらずと認められ歐洲航路等の一萬噸級以上の汽船は碇泊港を長崎に移すの議に決してゐる且つ馬關海峽は各工場の煤煙などがあつて四時濛霧に掩はれ進路の見別けが附け難く連絡船の船長運轉手等は數年來

◇朝夕に出入　し居れるにも拘らず尚且つ同海峽に出入する際は危惧の念に惱むこと多く殊に同港の取締不十分で帆船航行の如きは更らに何等規律なく此點は馬關海峽は特に甚しく且つ地附近は周圍の山嶽の關係上風が乏しい爲めに出入の帆船は潮流に委して流航するに過ぎないから汽船の出入に妨害を與へ一定の針路を取ることが出來ず潮流の激しくない場所では操縱に苦しまないけれども

◇一歩誤てば　險惡な潮流に弄ばれ如何なる危難に遭遇するやも計られざる個所に於て此の如き障害物の浮流するのは恰も酔漢の猥り來れるか又は無智の小童の集へる小路に自動車を馳する如く操縱者の苦心實に容易でなく爲めに徒らに費す時間尠くない平時に於ても六連島下關門僅かに數哩に過ぎないのに一時間以上を費し辛ふじて出入する狀態に在るを以て

◇數分を爭ひ　航行せざる可からざる連絡船に取りては其困難一層甚じきものがある今日迄に於ける連絡船の缺航遲著は主として此等の障害に基くもので此間に要する時間の損害は決して鮮少でない故に關釜連絡船を安全確實ならしめんとせば下の關の背面に鐵道を延長し同地に繫船設備を施し馬關海峽を避くるの外はない之れ決して難事ではない倫敦に於ける如くドゥバル鐵道を延長し

◇旅客の連絡　設備を施せると同樣の計畫に據ればいゝ譯であると馬關港は汽船を繫船せしむべき場所でないことは既に以上の理由に依りて明白であつて將來は港としてゞなく工業地として門司馬關の生命があることになるだらうと思はるゝが其際石炭の積取り其他の爲め附近に繫泊港を要すとせば若松港こそ最も適當であらう現に大型汽船は多く同港に廻航しつゝあるではないか

◆仁川港內氷塊累々　仁川近海は潮流の關係上二三日前より各沿岸に凍結したる氷塊流出し港內は三日朝に至り朝鮮及び解等は操縱危險を感ずるに至りたり此れが爲めに稅關棧橋上には流氷累々として作業を爲す能はず汽船は氷塊に閉され居る狀態なるが三日の如き暖氣續き高潮時毎に港外に流失せば二三日中には流氷の危險無きに至る可しと（仁川）

●石合戰　一萬數千の群衆　高陽郡に集合す

朝鮮では昔から陰暦のお正月に石合戰を催ふす習慣があり京城附近でも毎年行はれてゐる何しろ猛烈な仕合を演ずるので

▲多數の負傷者　を出し事態穩かで無い爲め官憲では之れを廢止すべく前以て面里長から一般住民を諭さしめ未然に防遏することに努めてゐた然るに例年通り其の開催場所たる高陽郡龍江面倉前里川の砂原に蝟集するもの多く客十二月二十八日の如きは京城、龍山を初め遠くは金浦、始興兩郡地方から集まつて來たものが無慮一萬五千人と註せられ有繫に廣い砂原も

▲數丁に亙つて　人の山を築き何れも腰には大袋に小石を一杯詰め込んでぶら下げ手に洗濯棒一本宛を携へてゐる、此の群衆が約三百名宛も東西に分れ最初は洗濯棒で撲り合ひを演つてゐる内に遂に腰の袋から小石を取出して打つ附け合ひとふ段になれば双方に見物してゐる群衆は鯨波を擧て聲援する鬪士は入り亂れて白兵戰を演じ鮮血に塗れて重輕傷を被るものが續出するといふ有樣である、今年も既に開戰しやうとする模樣があつたので所轄京城憲兵分隊では派遣所から憲兵が出張して

▲解散を命じた　が一向に背入れる樣子もないので二十八日午後三時頃分隊からも多數の騎馬憲兵が應援として駈付け嚴重監視したもので遂に開戰するに至らず一萬數千の群衆も蜘蛛の子を散らす如く雪崩れを打つて退散した、そこで司令者と認むべきもの數名を引致して嚴重訓戒の上放還した翌二十九日も少數の者が集まつたが是亦憲兵の命で穩かに退散した

◆水道栓が凍る

例年にない寒氣の爲めに一月以來京城の水道栓頻々として故障を生じ其の數は一月だけで千七百六十六ケ所の多きに達した斯の如きは京城水道開始以來の新記錄である事は勿論他にも其の類例を聞かない處である水道栓七千三百四十一に對し十二月下旬から二月の初め迄に生じた故障は實に二千六百七十二箇所の多きに達した

●臨濟宗道場建立

後藤瑞巖老師は臨濟宗朝鮮布敎監督として就任以來京城大邱釜山等を絶えず巡錫して臨濟禪の擧揚に努め居れるが各地共官民有志の眞面目なる修行者多く修禪道場建立の必要を生じ京城にては既に會員中心となり大邱釜山に於ては禪學會員中心となり計畫の實行を進めつゝあるが大邱に於ては今回聯隊本部たりし朝鮮舊建物を讓り受くることゝなり既に移轉を了したるを以て近く入佛式擧行せらるべく釜山にては荻野氏は金一千圓を大池氏は敷地を其他淨財の喜捨を爲すもの多く其他鈴木法院に、栗山檢事石井氏等の有志に依り計畫大に進捗し居れりと

□日曜漫畫　お紅茶が耳へ這入る　めちや吉畫

或日の晩茶目がお父樣の留守中お父樣の机を占領して大得意でお紅茶を呑んでゐますと、そこへ何處からか電話がかゝつて來ました。お父樣の口眞似をして『アヽ、オイ〳〵……』と眞似をしますと電話をかけて來たのは大好きな伯母樣からでした『アヽモシ〳〵伯母樣、伯母樣、僕今ね、お紅茶を呑んでゐるのですよ、伯母樣、お紅茶を進げませうか？』すると『茶目さん、伯母樣にも頂戴な』と伯母樣が返事をなすつたもんだから、茶目が本氣になつて、送話機の中へお紅茶を注ぎかけました。それを見てゐましたのは隣家のべそ子『茶目さん茶目さん、そんな所へお紅茶を入れちや、伯母樣の耳へ這入つて大變よ……』と云ひました。すると又茶目は送話機の中を覗いて見て『ヤーイ伯母樣の弱虫ヤーイ、お紅茶が耳へ這入るもんだから逃げて行つちやつたーい』

●鱈や鰊は何うして漁るか

▽寒氣を冒し波濤と戰ふ　興味ある冬季漁業

昨今總督府では全北最西端に位し群山を距る三十八浬の於靑島を根據として尙ほ三十浬乃至四十四五浬の西洲合に出で鱈、鰊を捕漁する冬季漁業の試驗中である此漁業は從來漁業者間にも多少行はれて居るが未だ充分に漁場が開かれて居らぬようである何分此頃の天候は

▲西や北の風　が多く吹いて兎角時化勝であるから寒氣を冒し波濤と戰ふ漁業者の困難は實に容易でない、だから元氣旺盛なる漁夫が必要であると同時に漁船の最も堅牢なるものを要する、併し漁獲が頗る多く一航海に百圓乃至二百圓を得ることは珍らしくない隨分興味がある一航海は一週間乃至十日間位であるが正味漁場で働くのは僅々

▲一二晝夜で　其他は航海や風待や餌取りに費すのである、其餌に就て一場の因緣話がある、元來鱈延繩の餌料には島々の附近に居るアブラメと云ふ魚が適當で其アブラメを捕る餌には鷄の肉が最上である牛肉や豚肉を用ゐることもあるが鷄肉に越したことはない、從つて昨今近海の島々では鷄の値段が

▲大に騰つて　平生一羽二十錢內外のものが冬季には倍額以上になるそれでも漁業者は買入れて其肉を切つて島々の近所でアブラメを釣る其又アブラメを切つて鱈を釣つて來るのであるされば島々に肉量の多い鷄を飼はせることが必要である

●惡戲から　彈丸命中す

全北扶安郡白山面梧谷里居住山口縣人椎木菊助（三）は昨年十二月三十日沃溝郡開城里居住大森岩次郎より獵銃（十番徑）一挺を買求むる約束にて自宅に持ち歸り居りしが去る二十五日同面平橋里鈴木金四郎より臘彈四發を貰ひ銃の試驗旁々附近の郊外に狩獵に出掛け其歸途兼ねて菊助方に出這入りを爲し居りたる同里金三述（二）なる者に銃を擔がせ置きたるに附近の子供等が寄り集りて銃を弄び居る中一人の小供が物珍らしさに一寸銃の引き金を引きたる途端に發火して後部に居合せたる同里金允初の二男金富表（二）の頭部に命中したるより悲鳴と共に卽死したるが何分子供の惡戲からの出來事とて詮方なく菊助は一應其筋の取調を受け菊助より十圓吊慰料を被害者の實父に贈るべく目下相談中なりと

●四人連で無錢遊興

仁川濱町二丁目仙田方鐵工職堀口丑松（三）は外三名の同僚と共に去月二十六日午後十一時頃敷島町入舟樓に登樓し十二圓四十錢の遊興をなしたるも金錢の所持なかりしより外三名は丑松を殘して金策に出掛け辛うじて六圓丈け調達の上同樓に至り支拂ひたるも樓主は之れを請取らず返つて四名の者を無錢遊興の廉を以て訴へ出でたるより仁川警察署にては直ちに同人を引致取調べたるに前記の次第判明したるを以て遊興費全部を支拂はせたる上示談をなさしめたり（仁川）

◎賭博　仁川牛角里金聖完（五八）外三名の勞働者は二月二日午前六時頃秋善明方に於て鬪箋を以て賭博をなし居る處を警官踏込み逮捕何れも皆六十に處せられたり（仁川）

◇賑はつた節分の夜

節分の夜、本町通りの店先に電燈が瞬きそめた六時前後、蜆深く垂れた車が幾臺も通るその中を覗き込むと人妻にしては少し艶かに過ぎる高丸髷の人、さては稚兒髷のお子供〳〵した年增女、厚塗りのお孃樣かと紛ふ濃艷な女などのゐるのを見受けたが之こそ年越しの夜を飾る所謂お化けの群れであつたその內に新に目立つたのは丸髷會連中の若返つた道化振りで辰中、富美廼家の女將連が音頭取りになつて若い藝者に扮し押廻つたのはその一ツ、淸華亭連中は宴會のお客が變裝したので負けずに變裝した中には藝者が仲居に化けてゐたものもあり、仲居が舞妓になつたり仲居が相撲取りになつてゐたりお客の側には仕事師あり、車夫あり時に娘になつたものあり種々奇拔なものが續出したさうである

灯ともし頃

▲これは京城のある大商店の番頭さんの極內證の話だが▲其の店には京城中に掛買りを爲ても先づ安心と云ふお得意先が千百人ばかり有るさうだ▲此の內の五割は官吏で二割が料理屋二割が實業家▲殘の一割は樣々の人種で藝者も七八人這入つて居るさうだ▲實業家は金持でも多く拂が惡く官吏は掛買ひ生活が便利だけに拂がよいが▲更に拂の宜いのは藝者である其代り一朝間違つて兆日に見限られた姐さんと來たら逆かさにしても出はしない▲お得意樣に成る資格は美人でもなければ氣前の好いのでもない藝が上手なんて云ふ事は勿論店に取つては一文の値付もない▲そこで私の處の店にはちやんと藝妓とお客さんの帳面が出て居て▲旦那の熱度が少し下つたからあの藝妓は少し危險だとか▲此の頃は誰さんが首丈けだからあの藝妓には掛賣りしても宜しいと云ふ事に成つて居る▲と聞いて見れば商賣も難かしいものでゲスカナ

●京城全市今夜斷水

今後一週間每夜七時より翌朝六時迄

京城水道は連日の寒氣のため各給水栓に故障を生じたるもの多く水等の量も當りたるため水源地に於ける貯水量は水深約二尺の少量となりたるため此儘にて放任せば全部連日の斷水の餘儀なきに至るべきを以て止むなく三日夜九時より數時間一部の斷水を行ひたるが更に今後の善後策として向ふ約一週間每日午後七時より翌午前六時迄全市の斷水を行ふこゝとなりたり水道の斷水に就ては各自の引用者に往々汲置きを爲すの例あるも目下嚴寒の際なればなる可く之を行はざるやうになし六時の通水を待たれたしと

演藝案內

御成座　御成町　電話二九一　中村梅昇一行
二月五日藝題　△佐賀夜櫻猫化騷動　△佐賀鍋島公（松榮）龍造寺又七郎（理市）後室お行（明幸）侍五右工門（竹老）小森半左衛門（金化）淑子（梅昇）

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　二月二日より特別大寫眞提供　英國オリンピック大會の實況　○實劇叔母の訪問　○探偵大活劇怪婦赤髮の女　全三卷六千呎

浪花館　明治町　電話二六〇
○大阪親友派浪界之猛將竹川馬生一行再び出演續物　二月一日より六日間日延なし　△義烈百傑（一夫）△四ツ谷怪談（廣駒）△百文中の一（光若丸）△向井善九郎（粂春）△忠臣義士、水府公（馬生）△每夜五時半開演仕可候

黃金館　早川直營　電話三六三七
大然色活動寫眞株式會社一手代理店　二月一日より提供の三大寫眞

壽座　京城壽町　電話五七八番
二月五日藝題　大阪若手大歌舞伎　中村新駒、市川鶴之助、市川瓢藏一行　前切　菅原傳習　寺子屋の場　肥後の駒下駄　大序より除打迄　特等七十錢、一等五十錢、二等三十五錢、三等二十錢、四等十錢（開幕午後正五時）

京城水道給水制限廣告
配水量不足ニ付當分ノ內午後七時給水ヲ停止シ午前六時給水ヲ開始ス但シ土地ノ高低ニ依リ吐水ニ遲速アルベシ
大正六年二月四日　京城水道

りん病　急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋滅を御用ひあれば全治速なり三日分五十錢七日分一圓十四日分一圓九十錢本藥は他店に御賣せず直接本舖に御注文あれ
京城黃金町三　振替京城三二七番　山田文殊堂藥房

院長上京中の處今般歸院　左記肛門療院增設
京城黃金町三丁目　電話二四四三番　振替京城三三二八番
內科、眼科、小兒科　本田醫院

本田醫院附屬　**京城肛門療院**
痔核。痔瘻。裂痔。痔出血。脫肛痔。直腸脫
肛門病の詳解說進呈　遠隔は郵券二錢要す　特殊特種注射根治療法

大阪緒方婦人科病院
院長　醫學博士　緒方正淸
次長　醫學士　緒方祐將　ドクトル　蘘浦光雄　醫學士　高野三男　醫學士　曾根源作
電話本局　一九八四番　一九八五番　一九八六番

●指定　緒方助產婦教育所　產婆生徒　本科每年十月　別科隨時入學

タンセキ改良劑　呼吸器散
肺病豫防劑
本劑は最新高貴の祛痰鎭咳の特効劑を配伍せるを以て如何に重き呼吸器病にても一週間程試みよ!!　タンを袪りセキを鎭め胸苦しきを和らげ安眠の効を奏する事確實なり。
かゝる時御効あり　息苦しく胸痛む時。咳出夜眠られぬ時。たんに血の交る時。聲がかれ出でざる時。のんど腫れ痛む時。たんせき切れ難き時。
價　十錢　貳拾錢　四拾錢　壹圓
本舖　大阪心齋橋　東京銀座　丹平商會藥房　全國到る處の各藥店にあり

不思議の效驗を奏す

●この頃流行する子供の感冒
京城の冬は空氣が非常に乾燥する

此頃感冒が非常に流行して居ますが子供の罹る病氣中、十中の八九迄は大抵感冒であります、普通の感冒ですと鼻加答兒、咽喉加答兒、氣管支加答兒等で

◇體質の强い 小兒なら格別熱も出ないし食慾も減りませんが氣の惡い流行感冒等に冒されると性來虚弱な小兒は、急に熱が高まつたり、痙攣たり、嘔吐したりして重態に陥る事が屢々あります。殊に

◇京城の氣候 は非常に風が冷たく、朝夕の温度も違ひ雪が少いので空氣が何時も乾燥して居るから、氣道の粘膜を冒されて感冒に罹り易い、それに家屋の構造が、西洋のやうに部屋全體を温める事が出來ないので

◇隙間の風が 多いのも感冒を重くさせる一原因であり子供を脊負つて戸外へ出る事等も感冒引きを多くさせるもとであります。一體感冒は感染するもので、家内中に一人罹つたものがあつても

◇全體に感染 つて行くものです、それも大人の感冒なら左程心配する事はないが小兒の場合だと肺炎になる憂ひがあるから、充分に注意して、感染すると云ふ事を忘れずに

◇感冒引の人 の傍へ連れて行つたり、或は其玩具等を持たせぬやうにしなければなりません、感冒に罹つた際、熱もなし食慾も減らず元氣であつたら格別心配する事もないがそれでも

◇餘り樂觀し 過ぎると氣管支加答兒から不攝生が原因となつて毛細氣管支炎、肺炎等になる場合がある。殊に小さい哺乳兒や大病揚句の子供

◇弱い體質の 子供、よくお腹などの出來る滲出性體質の子供は、感冒から往々重い肺炎等になり易く、そして全治しがたいものですから斯うした御子さん方を持つ親は特に注意しなければなりません、若し感冒に罹つて熱が高まつたり痙攣したりした場合は

◇一刻も早く 手當をしなければならぬ、重態に陥つた場合は朝は平熱であつたものが、夕刻急に熱が高まり呼吸せはしく、手足が冷わ鼻翼呼吸をするやうになるが其は肺炎に罹つた證據であるから

◇早速醫師を 迎へて充分の手當をしないと取り返しのつかぬ事になります。性來强い子供なら、普通の鼻加答兒に罹つた位だと、日中日向ぼつこでもさせて置けば醫藥を與へなくても治るが

◇虚弱な子供 は初めから注意し、戸外へ出さぬは勿論室温を一定し、空氣の乾燥を防ぐため鐵瓶等に湯を沸して室内を濕潤ならしめ吸入をかけたりした上醫療を受ける必要があります

◇特別に手當 の注意として濕布をするに著物を脱がす時、極めて手早くしないと冷たい風を引き込む恐れがあり、下手にすると著物を濡らして思はぬ失敗をする事がある、濕布には冷濕布と温濕布があるが普通は温濕布を用ひ

◇熱の高い時 は冷濕布を用ひます。尚感冒を引いた場合は胃腸の機能が弱るから單に感冒の手當許りでなく、食物の攝生をよくし乳を呑み過ごしたり、御菓子を食べさせたり間食をさせたりしないやう、併せて注意する事がくれ〴〵も必要であります。（某醫師談）

讀者文藝（一等には五十錢の賞品を呈す）

△寐め番

○兎と杵（一等）　平北鐵山　淺岡信子

▲選外佳作　京城伊丹生、同淡羅手、仁川小柳田吉、龍岩浦武田靜子、麗武良喜久枝、同明峰、元山大森千島、龍岩浦次郎共、龍山中崎崑、京城白樂天、同南天子、同松外諦

▲次回題上圖の通り

東西藝妓氣合せ

安東縣由良之助　夜明

夜明は十五で京都の生れ、踊、三味線、鳴物、筑前琵琶など稽りに習つてゐる、踊りは勝門、連獅子、關の戸、二人少女などが好きで踊りの關の戸は御飯よりも好きださうだ、御座敷がかゝつてくるのが何よりも嬉しく、お稽古は才三姐さんのゐる内に是非存分に習つておいていゝ藝者になりたいといふのが心願、之れだから才三姐さんが浮かぬ顔でもしてゐると今にも何處かへ行つて終ひはしないだらうかと心配してゐる

元山大芳樓　芳太郎

芳太郎は元山で生れて元山で育つて去年の暮から藝妓になつた、しかし元山で生れた事は事實だけれども別に朝鮮人のお腹から飛び出して來たわけではない、口が惡くなると皆に止められても明太魚だけは拔けつ匿れつ喰べなければ氣がすまぬといふのは流石に元山生れだけあると皆を感心させる、火鉢の緣に兩手を當て丶『旦那何か面白い事を聞かせて頂戴』とせがむのが癖である、三味線は師匠に就いて習つてるが『お金が出來たらお師匠さんを私が養つて上げますよ』と眞顏で言つてる

●組合派總會開かれん

日本各組合教會にては毎年秋季に一回全國の牧師或は信徒の代議員等を召集して組合教會總會なるものを開催して傳道事務の既往に於ける報告及び將來の計畫等を協議することゝなり居れるが本年は是非共京城に於て總會を開きたしとの希望組合派内の幹部並に在鮮の信徒間に起り昨今協議中なるが多分京城側にて引受くることに決定す可き見込なりと

●新案の持出箱

京城本町二丁目三十番地山本村太郎氏は道回實用新案の折疊式非常持出箱を製出し特許局へ登錄を得たるが箱は構造に便利なる折疊式にして非常の際には中央鑑戸に裝置せる背負紐にて持出し得べき構造となりをれば在來のものに比して非常に便利經濟なるべく既に平安南道廳を始め各方より多大の注文を受けたりと

●技藝學校の展覽會

豫て女子の實務的敎育を施しつゝある私立京城技藝學校にては本年の新學年と共に一層の發展を試むべく猶ほ來る二十四五日中生徒の學藝展覽會を開催すべしと

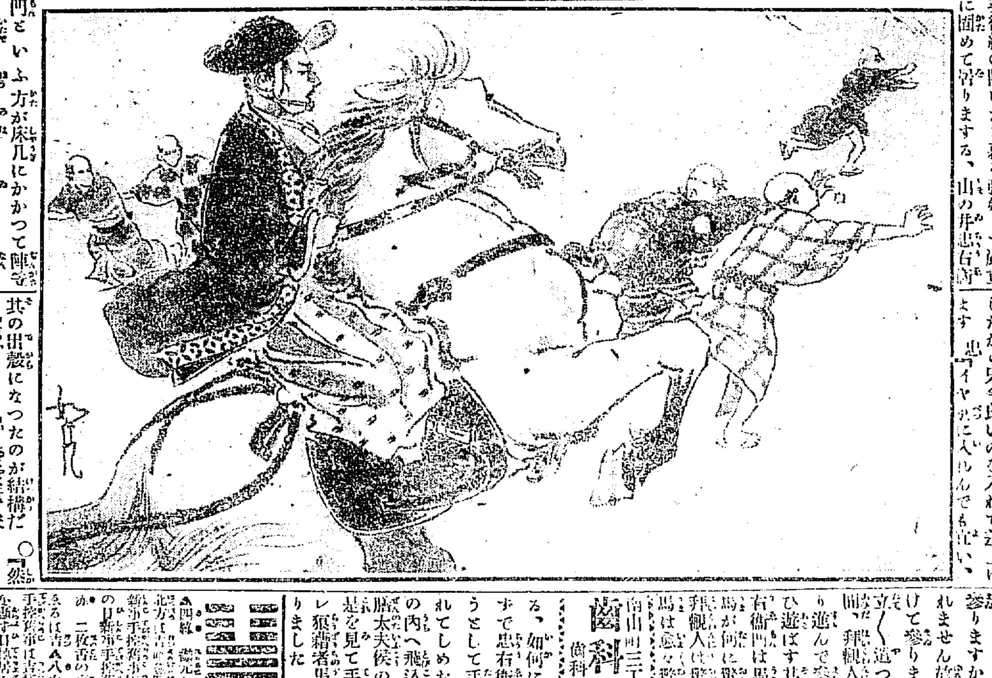
だいどころ その日〳〵

圖 馬鈴薯の蒸燒 馬鈴薯の皮を剝き適宜に切つて面を取り幾度も水を換へて晒しテンパンにバタを一面に布き馬鈴薯を入れて鹽小匙に一杯を撒りかけテンピに入れて十分位も燒き裏返し再びバタを少しく落して十分位燒く

明君道中記

第五十席　田邊南龍口演

秀忠公家光公の御親子は二條城内より御出馬あらせられましたが、貝を吹鳴し太鼓を打てエイ〳〵オーと繰出し、二條三條の間まで御出迎をいたし茲に主上二條城へ成らせられやうと云ふ時に一ツの騷動が出來たといふのは、大津八丁打手の濱を固めて居るは越前藩井の城主宰相忠直公、葵御紋の附いたる幕を張廻して嚴重に固めて居ります、山の井忠右衞門といふ方が床几にかかつて陣笠を頂き八方を見張つて居ると、何にせい八月の中旬だと云ふのに日影も無い松原を固めて居るのでありますから暑いのなんのと云つて日に照りつけられて堪つたものではございません、汗をダク〳〵流して眞赤になつて居たが、向ふを見ると幕張の外に居りましたのが大津の宿役人五六人土瓶に酒を入れて茶と見せて飲んで居ります、幾ら嗜まさうとしても茶を喫むのと酒を飲むとは、直に知れる、茶はグイと喫めるが酒は然う叶ん、一口飲んで舌打をしたり顏をしかめて居るから酒といふことは判る忠右衞門此を見て居りましたが元來此の人も酒好き故咽喉を鳴して、忠『コレ〳〵宿役人』○『ヘエ〳〵』忠『今日は暑い處を役目とは云ひながら其方達も太儀であるな』○『恐入ります、私共は何でもございませんが旦那樣は嘸ぞお暑いことでございませう』忠『イヤ何うも暑くて堪らん、見受ける處其方共は茶を喫んで居る樣であるが此方にも茶をくれ』○『畏りました、是は出殼になりましたから只今良いのを入れて差上げます』忠『イヤ〳〵それで宜い、其の出殼になつたのが結構だ』○『恐入ります』忠『宿役人の前であるが茶は宇治より池田伊丹の方が宜い』○『ヘエ』忠『其の土瓶を此處へ二ツ三ツ持つて來イ』と土瓶を持つて參つたを湯呑に酌してグツと飲んだ其の旨さ、忠『アー良い茶だ、もツと替りを早く持つて參れ』と追ツかけ〳〵土瓶の酒を飲んだが一升五合も飲みました、空腹へ飲んだのであるから大層醉ひました、殊に最前より日に照りつけられて居つた故さアがンしして何が何やら判らない、忠『コレ家來共今日の行幸は又と再び拜せない、同じことでも毛利や井伊の家來は持場を固めて居て居ながらにして拜觀が出來るが、此方なぞは用もなき大津八丁打手の濱を固めて居るから拜觀をすることが出來ない、是より京都へ參つて拜觀いたす』○『恐れながらお持場を捨て京都へ居らせられお不在になりましたら萬一お役目の落度になりませう、其儀はお止りなさる樣』忠『默れ、萬一と申して萬に一ツ事が起らばそれまでのことだ、何があるものか心配いたすな、馬を牽け』と云ふと、忠右衞門ヒラリと跨り、家來も仕方が無い其處へ牽て參ると、



坊よろこぶ　木村屋パンに添へてやりましよキヤラメルを（京城明治町　電二八七〇）

げて、ハイヨーと砂を蹴立て乘立てて參りますから山ノ井の家來も捨置かれません故、後より七八人續いて跟けて參りまする、此方は忠右衞門乘立〳〵遣つて來たのが二條と三條の間、拜觀人は雲霞の如く恰度兩方より進んで參つて主上と將軍家がお會ひ遊ばす其の際でございますから忠右衞門は馬より下りやうとする時に馬が何に驚いたかヒーンと跳上つた拜觀人は驚いて逃出す、其の騷ぎに馬は益々驚いたものと見えて狂ひ廻る、如何に醉て居ても生醉本性違はずで忠右衞門は大變と思ひ乘鎮めやうとして手綱をつめ、兩足に力を入れてしめたが、馬は其儘に傍の幕張の内へ飛込んだ、スルと是が毛利大膳大夫侯の固めであつて、足輕共は是を見て手に〳〵棒を押取つて、コレ狼藉者馬より下りろと打つてかゝりました

齒科　橋本齒科醫院　齒科醫學士　橋本清次郎　南山町三丁目巴城館上　電話二九二〇

二月六日　九星
舊正月十五日己卯
本命四綠　[illegible]

京城學校組合告示第壹號
京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ明治四十四年四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ就學スルニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正六年一月十日　朝鮮總督府府尹　金谷充

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版　亞鉛凸版　迅速と親切とを旨とし最も低廉に調製仕候　京城日報社　寫眞製版部

蘇峰德富猪一郎著　最新刊
大正政局史論
總クロース製　菊版四三〇頁　定價貳圓　郵稅金十二錢

解散後に於ける政界の燈明臺と國民の羅針盤を推奬す

嗟呼解散は遂に來れり。借問す政局の前途に對する朝野政客の準備如何、日本國民の覺悟如何。時勢に順應せんとする選良は、如何なる方針に基いて立脚の地を作らんとする乎、我が國民は如何なる自覺を以て、如何なる人物を選擧せんとする乎。此の兩者に指導を與ふ可きもの、本書以外に之れ無し。本書は大正政局の過去を知るのみならず、從て現在を知り、併せて未來の進路を指點す。眞に刻下必讀の書也。

發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座一三一〇　民友社
大取次所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部
取次所　京城本町二丁目　振替京城二五七三　大阪屋號　京城日報各地支局

京城大和會第一回總會開催
奈良縣出身者及全縣に緣故を有する各位奮て御參會相成度
△日時　二月十日午後六時
△會場　南山町三、京城ホテル
△會費　金一圓當日御持參
△申込　二月九日迄明治町一　小林藤右衞門方
創立委員

消化と毒けし　仁丹を召上れ
●食前食後の時……消化消毒
●讀書執務の時……頭腦明快
●旅行運動の時……元氣旺盛
●頭痛目眩の時……氣分爽快
●胸腹の痛む時……即時回復
●倦怠逆上の時……イヽ氣持
金言　少年と白紙とは如何なるものをも印銘す（英國俚諺）

●直段一大引下げと取引法改善謹告
各位益々御情福奉賀候弊店儀永年各位の御眷顧御引立を蒙り御蔭を以て益々隆盛に趣き候段奉深謝候　隨つて平素各御得意樣の御厚意に酬ひん爲め今般店則の一大改革を施し且つ諸品一般産地直段益々暴騰一方に不係弊店は正反對に一大引下げを斷行し誠心誠意薄利多賣主義の本分を以て大勉強可仕候間多少に不係續々御買上の程奉懇願候
漆器　纖維　銘器　金物　石油　茶器　陶器　清酒　乾物　什器　文具　紙　海産　荒物　磁器
仁川新町　電話七六二番　振替京城三八九番　津田兄弟屋本店
仁川宮町　津田兄弟屋陶器部
京城本町　津田兄弟屋支店

●連絡船上陸客　二月三日午後十時三十五分釜山入港

入學手續　京城高等女學校入學希望者は二月末日までに[illegible]

美顏ユーマー

▲學者の創製したる美顏ユーマーの價値

◈製出の由來

現今内地製濃厚化粧液の多くは未だ充分に歐米品と競爭できる程になつて居りませんのは甚だ殘念な事であります。例へば液を濃厚にする原料にしても、アラビヤゴムとかフノリとかいふ様な品を用ひたのもありますが、是等の品は毛穴を塞いで皮膚の分泌作用を妨げますから衞生上餘り宜くありません。そして使ひ心地も快くないのです。斯ういふ様な點を完全にして、進んで皮膚の衞生と美とに就ての効用を強め、事實舶來品に劣らぬ濃厚化粧液を製へたら非常な便益であらうと考へて、桃谷研究部の學者は其研究に取掛り、苦心完成したのが即ち美顏ユーマーです。

◈その成分

濃厚化粧液の第一の成分は勿論あの濃厚な粘液です。此粘液にゴムやフノリ等を使つたのでは別段新しくも珍しくもなく、亦美容衞生の効果も大した事はありません。桃谷研究部では特に此粘液に就て力を入れて研究した結果、全然從來世に用ひられてゐたものと質の變つた一種の植物性の粘液素を完成しました。是に美顏化粧料に獨特の桃谷研究試驗部發見の新しい美容素それから色を白くする力の強い或白色劑原料、次に一般の濃厚化粧液にも用ひられる原料の中で數種、品質の特に精良なもの。是等を配合して此濃厚美容液美顏ユーマーが出來たのです。

◈その作用

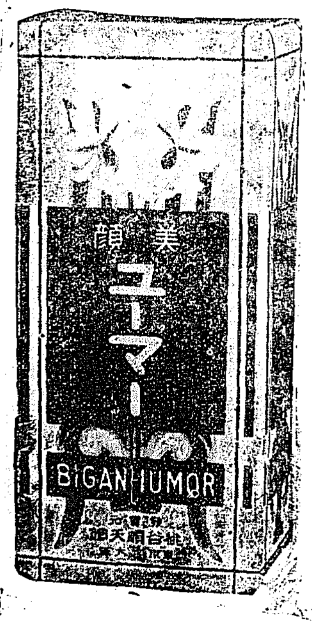
とりわけ御注意願ひ度い事は、或は自慢らしく聞ゆるかも知れませんが、ユーマーの原料に使ふ植物性の新粘液素の事であります。此新粘液素は、毛穴を塞ぐ様な事が絶對に無いばかりか、皮膚を柔かに滑かにし、そして毛穴を開かせる作用を持つてゐます。是で毛穴の開いた所へ、色を白くする白色劑と、皮膚を艶麗にする美容素とが附いて、開いた毛穴から充分に吸込まれるのですから液は微塵もムダにならず、遺憾なく皮膚衞生と美容上の効果を現す事が出來るのです。斯ういふ風に科學的に出來てゐる濃厚化粧液は歐米品にも餘り見受けられません。

◈その効用

此様な成分を斯ういふ作用をする様に配合創製された美顏ユーマーですから、其効果の著るしい事は申す迄もありません。朝、顏を洗つた時ユーマーを附けて置けば、一日中顏色が晴やかで、湯に入つた時のやうな美しい色艶を保ちます。そして冬は顏手の荒れ、夏は日燒を防ぎ、皮膚を柔かに滑かにして皺を防ぎ、常用すれば肌理細かに生地から色が白くなります。

◈白粉の溶水

尚特に申上げ度いのは、ユーマーは白粉の溶水として實に珍しい立派な効力のある事で、此液で白粉を溶延して化粧すれば、皮膚を整へて白粉の乘り伸びが思ふ儘になり、白粉に何とも言へぬ美しい光澤を生じてお化粧顏の美しくなる事此上ありません。



◈男子とユーマー

またユーマーは男子らしい晴やかな顏色を現すのに至極宜しいので、男子方の間にも、洗面顏剃後など盛に賞用されて居ります。

◈ユーマーの人氣

ですから美顏ユーマーは非常な人氣となりまして、美顏白粉共々、上は高貴方御召料として御用を辱し、舶來品に劣らぬ最善の濃厚化粧液として、上中流御家庭に洽く御寵用を博するに到りました。ユーマーの品質効果を喜ばれたお言葉を寄せられる方々も常に絶えません此好評が證明する品質

此品質が呼ぶ好評。美顏ユーマーは濃厚化粧液とし何處へ行つても非常な賣行を示して居ります。萬一未だの方は早くお試しになる様お勸め致します。

名譽の美顏ユーマーを創製したる
桃谷研究試驗部

▲顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　　醫學博士　山本淳二氏

▲主任　藥學士　桃谷幹次郎
　　　　千葉藥學士　小磯勝次郎
　　　　仝　藥學士　齋藤銳助

臥龍梅

2577 2.16

京城日報　第三版
二月五日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　郵稅一ヶ月金拾五錢　前金に限り三ヶ月分二圓　六ヶ月分四圓　▲郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢　▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢　▲三號活字十二字詰壹行金壹圓四拾錢　六號活字廿一字詰壹行金七拾錢
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯局一二四番　營業局三二五番　振替貯金口座京城三〇〇番

…候補者」と云ふのであつて誰でも構はぬ。…二日以て東京市に立候補を宣し翌…と附記するさうだ同じ珍候補にして…げた堺枯川君は馬場孤蝶君のそれの…ては蓋し枯川君が第一であらう（大阪）…二箇所の寒公先から金品二十餘圓を…あり一月二十七日高陽郡漢芝面新堂…

米獨の國交斷絕

獨逸の商船擊沈宣言

獨逸政府は、二月一日より、各中立國の汽船に向つても、無制限に潜航艇攻擊を、實行すべしと宣言せり。而して其の理由とする處は、過般の講和提議が、聯合國側より、拒絕せられたるに對し、此の橫暴を以て、其の報復的手段たらんとするにある者の如し。又た獨逸が、唯一の賴みに思ひたる、米國大統領ウヰルソン氏が、聯合國の講和拒絕後、更に第二の手段を採るに非ざるより、獨逸は茲に新たなる恫喝的計畫を以て、今回の宣言を公にし、以て一は中立國を威嚇し、一は國內の士氣を振興せしめ、而して第三國よりの平和提議の、止を得ざるに出でしめんとするにある者の如し。然り而して、今回獨逸が、其の宣言の中に、殊に『海戰法規を無視し』とあるは、特に其の聲を、大にせんとするにあるは明か也。獨逸の、海戰法規を無視せるは、今日に始まりし事に非ず。既に、一昨年二月四日を以て、敵國商船と雖も、無警告にて、之を擊沈すべしと宣言し、且つ之を實行し、屢々米國との間にも、紛爭を惹起せしに非ずや。今日特に、海戰法規無視の、聲明を大にしたるは、强盜の、既に强奪をなせし後に於て、吾は之より、强盜たるべしと云ふに等しく、笑ふべきのみ。されば吾人をして、之を以てしても、其の威嚇的政策たるかを、推知せしむるに、容易ならしむるもの也。

さはれ獨逸が、今日迄行ひ來りし潜航艇の橫暴が、より以上に、尙ほ其の橫暴力を有するや否は問題也。然れども吾人は、斯の如き計畫に於て、特種の技量を有する、獨逸なるが故に、更に巧妙なる技術の下に、海上に於ける、無法兇暴の行はるべきは、敢て疑を容れざる處也。試に獨逸の行ひたる、聯合軍に對する商船破壞策を見るに、近來に至り、益々其の步を進め、近々一月中に於ける、擊沈船及び捕獲船は、更に新なる記錄を作りしに非ずや。卽ち一月二十九日附を以て、最後とする報道を綜合すれば、獨逸の商業破壞に依りて、損失せられたる、聯合側の船舶は、汽船百十六隻、此の噸數三十二萬八千十七噸、帆船八隻、此の噸數一萬三千九百五十九噸に達せり。尙ほ右汽船中、噸數不明のもの三隻ありて、此の假想噸數、七千五百噸あり、且つ彼のローレンチック號（一萬四千八百九十二噸）の如きも此の計算中に非ざれば、之等を加算せば、三十六萬四千三百六十八噸の多きに上り、更に三十及び三十一の兩日間の擊沈船を、十隻二萬五千噸として計算すれば、隻數實に百三十五、總噸數三十八萬九千三百六十八噸に達し、開戰以來の、驚くべき新記錄を示せり。斯る次第なれば、今回の宣言と共に、獨逸は公々然、海上往來の船舶を、發見次第何の躊躇もなく、擊沈すべきが故に、爾後損失を被るべき、聯合側又は中立國の船舶は、益々其の多きを加ふべし。然れば聯合國側に於ても、獨逸の此の兇暴なる、行爲に對しては、當然之に酬ゆべき、手段と方法は講せらるべし。茲に至つて歐洲戰爭は、今や獨逸の、此の宣言に依て、忽ち暗黑時代に入り、今日迄聯合側に依て保たれつゝありし、國際法規も、人道も、正義も、最早何等の權威を有せざるに至るべく、戰爭は野蠻時代に逆轉し、野獸の如く相爭はんとするに至るべし。此の間に於て、最も大打擊を被るべきは、米國也。高遠の平和論を高唱せし、米國大統領も米國の體面維持上に於ては、斷然立つて、聯合國側に參加すべきか、將又其の理想に依て、平和を提議すべきか、今や何れか唯一の斷行あるのみに至れり。蓋し米國にして、今日新たに平和の提議をなせば、之れ全く獨逸の、奸計に陷れるものと、云はざるべからず。殊に聯合國側に於ては、其の結束倍々鞏固にして、且つ戰勝の、歷々たるの時に於て、不確實なる平和には、到底首肯する能はざるの、道理を諒知せる、ウヰルソン氏が、如何なる方法を以て、獨逸に對せんとするかは、頗る興味ある問題と共に、敵味方共、大に注意を拂ひたる處なりし。抑も潜航艇の暴行に關しては、米獨間には、再三外交の危機に瀕せし事ありしも、結局は幸にして、斷絕の如き、不幸を見ずして、今日に至れるも、獨逸の今回の宣言の如きは、其裏面に挑戰的氣分の、充溢せしやの觀あり。さればこの際、米國の蹶起して、戰爭に參加せば、或る意味よりして、寧ろ平和促進の一策たりとも、觀じ得べし。

假然、外電は報じて曰く、米獨外交は、遂に斷絕せりと、賢明なる米國大統領の、此の行爲は、多大の喝采を以て聯合國側に、迎へらるべきや必せり。茲に於て獨逸は、全世界の、强國を敵として、益々戰はざるべからざるに至れり。之れ卽ち、自縄自縛にして、最早何人に向つて、其の云はんと欲する處を、訴ふべきの途すら非ざるに至れり。獨逸が、今回の宣言を飛ばして、戰爭の擴大を大ならしめ、以て中立國をして、其の仲裁に、起たしめんとしたる、一箇の窮策たりし。獨逸最後の、國際的大芝居は、茲に見事に失敗を重ぬるに至り。愈々獨逸は、列强包圍の內に、其の臨終の、近付きつゝあるを見る。

「大正の青年と帝國の前途」を讀む

（三十）

大正五年十二月十二日上海に於て　大谷光瑞

或は曰く、日支親善の要は、先づ彼の借款にあり、經濟同盟をなすに非ざれば、親善の實期し難し、是論不可ならざるに非ずとせず。而して借款をなせば、親善を期すべく、經濟同盟をなさば、親善立ろに期すべしとせば、大に誤れり。今日支那の最も急なるは、不用の軍兵を撤するにあり、歲入の缺陷を補ふにあり、是をなさんとせば、借款に由らざるべからず、故に借款の急要是に生ず、然れども今日の如く、排日の主義の下に借款の急を救ふも、彼等皆謂へらく、米の借款に恐れ、日は之に競へり、我若米に借らんか、日必ず是に倍せん、是一丸兩兎を獲つ計の上々なりと。而して我國を傾けて、借款に應ずるも、彼の排日は依然たるのみ。若夫れ欵亘にして、而も利權を得んか、喧々囂々終に底止する所を知らず。故に借款は、誤れるに非ずと雖も、是に由つて親善を期せんとするは、薪を負うて火を救ふが如し。經濟同盟の如きは、迂論なり、利あれば、敵人と雖も同盟す、利是れ親善にして、日支親善なるに非ざるなり。故に先其本を拔くに非ざれば、末を改むる能はず。是計畫に非ざるも良計と名くべからず。或ひは言ふ、我帝國の舉措を誤り、支那の感情を害せる事多し、宜く吏を改め、策を更へ、一層の親善を期せざるべからずと。是亦未策なり、我國の官吏或は支那の感情を害せし者あるべし、是を改むるは可なり、然れども是により、支那の感情を和ぐを得と云はば、支那若驕兒の如く、從て請へば、從つて更ふべきか。支那の最大の感情を害せるは、遼東租借、南滿洲鐵道、朝鮮併合、臺灣の占領なり。此の論者は、之を放棄して、猶支那の感情を融和するの大勇ありや。更ふるが如きは小事なり、外國官吏の更改の如きは、支那全國に於ては、蚊虻の世界を濡す能はざるが如し。是笑ふべきは愚論なりとす。今支那人の我國情を知らざるより、我帝國朝野の支那を知らざるを甚だしとす。支那人の所謂識者と自稱せるものは、其多くは、我邦の留學生なり。我國情は多少複雜なりと雖も、機關具備せるを以て、知り難きに非ず、故に支那の朝野是を知るもの稍多し、之に反し、支那の實情は、我邦人にして是を知るもの實に晨星の寥々たるが如し、或は支那に永年居住し、自ら之を知れりとするも、猶其一半だも知らざるを普通とす。而して漫然之が計をなす、故に我對支政策の歷朝の宰相、皆是を誤てり。

●鑛業の開發と地質調査（六）

地質調査の應用及び世界重要國に於ける其の調査機關

鑛務課長　村田素一郎氏談

領土若は植民地の調査事業

地質調査は陸產物の發展を促進し其の他百般事業の基礎をして鞏固ならしむるにあるは既に說述したるところなり、故に此の調査は殊に新領土若は植民地の經營上最も必須のことに屬す、其の地質調査所は加奈陀及び印度に於るものを以て其の最とす之れ其の領土の大なると其の經營の困難なるに因るものありて其の規模は本國のそれに近似するを以て茲に其の記述を省略し爾餘の領土若くは植民地に於ける地質調査機關の組織を略述し以て先進國民が地質調査事業を陸上開發上如何に重大視するかを視て參考に資せむとす

マイソア地質局

印度マイソア州バンガールに在り、マイソアは印度の南部高臺を占むる一州にして面積約二萬九千方哩人口約五百五十萬あり、地質局はマイソア王國の政府に屬し其の局員は地質技師三名、同補七名、地形技師一名より成り其の調査報告書は印刷公表す

錫倫鑛物調査所

セイロン島コロンボに在り、錫倫は面積約二萬五千平方哩人口約三百六十萬人を有す、本調査所は千九百三年の設立にして地質技師一名同補一名より成り陳列場を備ふ、出版物には鑛床調査報告書あり

比律賓鑛山局

マニラに在り、比律賓は面積約十萬五千平方哩人口七百六十萬あり、本局は內務省の所管に屬し地質調査に從事する者の地質技師二名同補二名あり目的は主として鑛工業の發達を計るに存するも亦學術上の研究に從事し地質鑛產圖及び報告書の出版物あり

埃及地質調査所

カイロにあり埃及はスピヤ及び沙漠を除き其の面積約一萬二千方哩人口約一千萬人を有す、本所は工務省調査部に屬し所長一、地質技師二名より成り陳列場を具へ種々有益なる調査報告書を出版す

亞爾是利地質調査所

アルゼルに在り、亞爾是利は面積約十八萬平方哩內サワラ大沙漠に屬するところ少からず人口約四百五十萬人を有す、所員は所長一、補助二名ありて地質鑛產圖及び說明書を出版す

南亞地質調査所

トランスバール、プレトリヤに在り、トランスバール、オレンヂ自由國ナタル及びケープランドの合併後トランスバール地質調査所ケープ、ブランド地質調査會を廢し南亞非利加地質調査所を設置せり、其の管轄區たる上記四箇國の面積約四十八萬平方哩其の人口五百三十五萬人あり、所員は所長一、地質技師四、同試補一、地形技師二、分析技師一、事務主任一あり本所には文庫及び陳列館を備へ地質鑛產圖諸報告書を出版す

第六拾五回　割增金一等　四千圓
十五本以下三千本の當籤樂しみある（異組同番號一通一組）月賦販賣あり
右御申込は第一回金四圓御送金になれば契約金領收證御送り致します
○外六十五回及遊債券一通なり多數毎月抽籤ある樣月賦組賣致します
十回　四通一組毎月二圓八十錢宛十五ケ月賦　外十圓券一通月賦賣は一圓
同　五通一組毎月二圓六十錢宛二十ケ月賦　か二圓でも隨意によろし
右各種共第一回金御送金になれば直に右契約金領收證送ります
京城長谷川町五十八番地　振替京城三五七五番
勸業貯蓄債券現物問屋　日本勸業銀行債券月賦販賣所

萬年筆の大革命
社會の要求に應して初めて生れたキング萬年筆は實用と堅牢を生命とす
特長
一、實質の堅牢にして永久の使用に耐ふる事
二、體裁優美にして高尙なる事
三、構造の最も進步したる事
四、販賣商會は正確と信用を信條として如何なる責任も甘受する事
五、五圓六圓の品と比較して斷して劣らない事
キング萬年筆
各地に特約店を募集す
自働インキ入式　正價　十四金金ペン付金一圓九十五錢
希望者は切手二錢封入申込あれ
キング萬年筆專門　製造發賣元　京城黃金町三　振替四一五六　丸八商會

京都　同志社學生募集
同志社大學　政治、經濟部●英文科●神學部
▲各務科生ヲ募集ス入學志願者ハ四月五日迄ニ申込ム可シ
▲英文科卒業生ハ英語科中等教員無試驗檢定ヲ受クル事ヲ得
同志社中學　一年級百四十名募集●二三四年級補缺若干名
▲徵兵猶豫上級學校ヘ入學連絡其他ノ特典中學校ニ同ジ
▲申込期限一年級四月九日限●二三、四年級三月廿八日限
▲規則入用ハ郵券二錢ヲ要ス
京都市上京區　同志社

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラバロイド、ルーフィング
アスファルトフェルト
最上毛製　屋根葺用（見本送呈）
京城本町二丁目（電話長四五番、二七七四番）
朝鮮總代理店　藤本次郎本店
振替貯金口座京城二五六番

各種萬年筆即時修繕◎
新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈
京城旭町二丁目六番地　東京パイン萬年筆出張所

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著　改訂增補第三版
朝鮮不動產商業登記申請書式心得
●紙數四百八十頁　●代價金壹圓　郵稅拾錢
既に再版一萬部を賣盡し尙各方面よりの注文盛なるを以て此の甚大なる江湖の大歡迎に對し更に改訂增補茲に第三版を發賣するに至れり抑登記に關する知識は本書に說き盡して餘蘊なし
卷中不動產登記の部には土地調査に關聯せるもの及不動產に關する囑託書式等併て百二十餘件並に印鑑屆、印鑑證明願、改印屆、土地變更事項に關する證明申請（京城府所定）委任狀、契約書、保證書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を揭げ加之官通牒、登記に關する決議、質例等苟も申請人の參考と爲るべきものは舉て各書式の末尾に之を揭記し以て疑義を明釋し又商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得べき程度に之を編纂せり土地所有者、不動產上權利者、會社、代書者必備の參考書たり
賣捌元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
取次所　京城本町二丁目　電話二〇八六番　振替京城二五七三　大阪屋號書店

萬人に滿足を與ふべき標準的大字典として
本書の特色は絕對的也
東大文科大學教授　文學博士　服部宇之吉　學習院教授　小柳司氣太　兩先生著
詳解漢和大字典
十萬部普及版特價金二圓　正價金貳圓五拾錢
特製（背革インデクション附）特價金貳圓五拾錢
體裁　四六判二千百餘頁最新式索引附
郵稅（內地十六錢、臺樺卅五錢、鮮支四十五錢）
十萬部普及の目的を以て開始せられたる破天荒の特價販賣の舉は果して的中せり!!
本書發刊後一週日にして優先劵附一萬部は影も止めず、爾來十日に二萬、廿日に三萬、追刷又追刷、印刷力の極限を盡せども需要部數常に供給部數に二倍三倍するが爲めに、速に江湖の熱求に酬ゆる能はず、洵に萬謝の途を知らざる所也、實に近時かくの如く賣足早き書物を見ずとは目下出版界の好話柄にして、嘗て弊社が『日本家庭百科事彙』は發賣部數十五萬を越え、盛に斯界の耳目を聳動せしも而も到底本書の賣行の連日加速度的に增加しつゝある勢力には比す可らず、豫定の計畫たる第一次二倍三倍せば、十萬部は意想外の短時日內に賣り盡さるべし、これもと弊社が確實なる自信ある成算との下に立てられたる企畫なればこそ
速に本書を使用あれ！今日の場合速に本書を購求あれ！是れ諸君の金二圓の最大効力を發揮する所以也
何となれば本書は
第一　的確に時代の要求を摑めり、最も進步的にして實用本位の漢和字典！これ從來何人も欲して得ざりし處なり。
第二　內容に永久的の實質を備ふ　先づ著者に著目せよ、本書の永き生命は本書自ら保證す、而して十年の丹誠を思へ！
第三　至廉、價格ならぬ價格を附す　尨然二千餘頁、而して其實質は敷島卅個の價なり。一頁一厘にも足らざる廉價也。
即ち、本書の生命は縱にも長く横にも廣し、初より著者に必ず無限の需要ある自信あり出版者に必ず十萬以上を頒布すべき成算あり、かくて金二圓の安價は決して無算當に非ざる也、而も購讀者の側より見れば
全然價格ならぬ價格也
舊式字典の不便を忍ばゞ全然無用也
內容見本進呈　往復葉書申込次第
東京神田　冨山房　振替五〇一　賣捌　全國書店
製本既成・即時送本

國交斷絶と大使引揚
米大統領斷絶理由を議會に聲明

米獨國交斷絶したるを以て米國大統領ウイルソン氏は三日午後二時議會に對して之を聲明すべし而して駐獨大使ゼラード氏に對しては既に歸國を命じ又駐米獨逸大使ベルンストルフ伯に對しては直に旅券を交附さる可し（紐育電報）

露軍ヤコベニ東方に勝つ

露軍は敵の猛烈なる砲火を冒してヤコベニの東方に於て敵の鐵條網を踏破し雪中險峻なる諸丘の頂點に前進して之を奪取せり（露都電報）

總裁兩相訪問

三日夜入京せる美濃部鮮銀總裁は四日午前九時寺内首相及び勝田藏相を官邸に訪問し上京の挨拶を兼ね種々公務上の要件一千萬圓増資の件等に就き會談し退出せり（東京特電）

滿洲水田計畫

南滿々地に於ける日本人及び朝鮮人經營の水田は年々好結果を擧げ今や水稻米は南滿洲の一特産となり來れり支那側も大に之れに覺醒されて元と綠林界に有名なる彼の吉林の韓登擧の如きも三年前より同省樺甸縣樺林子地方に朝鮮人十餘名を傭ひ水田を開始せし處意外の收穫を擧げたるより近頃吉林省代表者の鄭安立等は間島延吉各縣より墾民一萬戶を募集し東三省各處の官有水荒地に於て水稻を耕種せんことを吉林省公署に出願したるが同人等の計畫に據れば經費三百萬元を國家の保證にて各銀行より借入れて六年間に元利を完済すべく而して三年間は耕地を無税とし四年目より國家は三十三萬三千五百石此價格三百三十餘萬元の收税を得べしと（奉天）

哈市商界恐慌

露紙ノースチ、シスニー曰く

▲哈爾賓の商業界は險惡の狀態にあり極東及び日本、米國等より哈爾賓に送らるゝ露國必需品の流入は圖らずも阻遏せられたり反物類靴工場用原料品及び露國に取りて無條件に必要なる各種の物資數百萬布度は空しく哈爾賓とクワンセンセの倉庫に堆積せらるゝのみならず郵便局も五十萬個以上の小包を露本國に輸送する爲に要する貨車を得る能はず露國商人並に他國商人は貨物を持腐らして金錢上の危機に瀕し而かも投資に對する利子を失ひ莫大なる倉敷料を支拂はざるを得ざる結果大に疲弊しつゝあり貨車の缺乏は露國商業社會に對する虐殺なりと雖も郵便局も他の官廳殊に哈爾賓市廳も亦露都に於ける配給委員會が郵便事務に必要なる貨車を配給すべしと樂觀し居れり

▲進貨小包郵便物のみの送達手段も已に久しく杜絶され露國に於ける苦痛は日々甚しく可き狀態に於て増加しつゝあり

ノースチャイナデーリーニウス曰く

▲露國の諸銀行は正貨を海外に送ることを禁止せられたり例せば哈爾賓の露亞銀行は上海若くは大連へさへも如何なる金額と雖も送金する能はず哈市の爲替事務は露國以外の銀行にありて營まれ數十萬ルーブルは最近數月内露亞銀行が手に引揚げられたり

▲哈市は今や財政上の恐慌に陷り商人の受くる苦痛は尋常にあらざるに拘はらず露國政府は哈市への送金を嚴禁し在哈の外國銀行はルーブルの兩換を拒絶し又支那其他の諸國へのルーブルの爲替を爲すことを拒否するが故に倫敦紐育、横濱又は上海宛の爲替手形を購入し若しくは電報爲替によりてルーブルの送金を爲すを得ざるにより商業社會は恐慌狀態に陷り取引は中止し其結果としてルーブルは著しく下落したれば一英磅の正貨を買はんとせば千七百八十ルーブルを支拂ひ金貨一弗を買ふ爲めに三百八十五ルーブルを、金一圓を求むるに百九十二ルーブルを、又銀貨一弗を得る爲めに二百四十五ルーブルを投せざる可からず

▲浦鹽の商業を阻碍する貨車の缺乏は、又哈市に於て注目の價あり百貨は哈市に輸送せらるゝ前に先づ數箇月間長春に堆積せられざるべからず長春の貨物庫は棟木に充つるまで貨物を堆積し街路及び廣場に滿載されつゝあり云々

本年募集移民

東洋拓殖會社の大正六年に於て募集すべき第八回移民は新移民規則の認可後其の數を決定發表すべしとの事となるが多分二月二十日前後なるべし尚ほ本年は議會解散等により補給金なきを以て從つて其の數は少なかるべし

朝鮮貿易（十）
五、輸移入貿易（續）
輸移入品種の増減狀況及び其の因由

▲綿絲（増）　二十一萬三千九百六十圓の移入にして十萬四千二十五圓即ち十割の激増なり之れ漁業の發展と豐漁に基く需要の増進に因るものなるが糸價の騰貴に依り増額を大ならしめたること尠しとせず而して數量は前年に比し五割の増加を示せり

▲生金巾及び生シーチング（數量減價額増）　七百十六萬八千八百二十五圓にして九十二萬一千圓の比額を示せるも數量に於ては若干の減退なりし前年の移入額大なりしこと本年の海外輸出旺盛の爲在荷薄の狀況にて朝鮮に於ても一時賣止を見たるが商情なりしこと等相俟て之が原因たり

▲晒金巾及晒シーチング（増）　二百八十四萬一千九百五十五圓にして七十三萬八千九百三十三圓の増加なり價額に於ける此の如き激増は市價の騰貴に依ること大なりと雖も本品は内地に於ける在荷豐富にて相場も生地に比し騰貴の程度小なりしと染料商の關係等より賣行好況を呈せしに因る然れども之を區別に見るときは英國産は戰爭の影響として上海市場在荷薄なりしと銀高の關係上不振を呈し内地産は數量に於て前者を凌駕するに至れり

▲綾金巾及雲齊布（増）　三十九萬二千七百八十六圓にして二十四萬九千七百四十圓の激増なり本品は鮮人間に於ける需要増加の形勢に在るのみならず英國産の上海在荷豐富にして一時は荷間の商狀をさへ呈したる有樣にて自然他の綿布類に比し割安なりしと更に染料暴騰の關係上染揚物の賣行好況なりしこと等之れが主因なり

▲天竺布（増）　六十八萬百六十七圓にして十六萬七千五百七十二圓の増加なり最大需要地たる北鮮地方は甲山銅鑛の經營、豐漁等に依り景氣良好なりしと一般綿布騰貴の際本品の如き格安物の賣行良好也し等に因る

▲綿縮子及綿イタリアンス（増）　七十四萬七千三百五十七圓にして四十七萬八千三百六十四圓の激増也英國産大部分を占むるものなるが其の集散地たる上海市場に於ては前掲綾織綿布と同樣の商狀を呈し加ふるに染料商は本品の如き色物の賣行を好況ならしめ且前年に在りては戰爭の影響として輸入特に不振なりし事等相俟て叙上の激増を招致せるものなり

▲白木綿（増）　百六十萬七千五百一圓にして四十四萬一千三百七十八圓の増加なり本品は格安品にして下層民向なるが本年彼等購買力の増加と一般綿布の高値に依り著しく需要の増進を見たり

▲他の白木綿（増）　百十四萬九千八百八圓にして三十七萬四千八百八圓の増加なり本品は從來專ら内地人向に限られしが本年染料高の關係上又其他色木綿の鮮人間需要激増したる結果なり

▲支那麻布（増）　百六十一萬二千五百七十九圓にして四十五萬七千四百二十九圓の増加なり前年は仕入時期に於て恰も日支交渉行悩中に在りて支那商の仕入手控に依り輸入高著しく減退せしものなるが本年は仕入準備期たる二三月頃財界好況を呈したる結果多額の仕入を爲したるを以て旁有の入増を告げたるものとす

▲羅紗及セルヂス（増）　三十五萬八千八百八十三圓にして十一萬九千八百十八圓の増加なり之れ主として價格の騰貴に依るものにして數量に於ては僅々五分の増加に過ぎざるものとす

▲モスリン（減）　十三萬七千百十二圓にして九萬四百四十九圓の減退なり之れ戰亂の爲價格暴騰し一般に消費節約の傾向ありしに因るものにして數量の如き約五割の激減を見たり

▲絹織物（増）　百二十萬七千五百九十圓にして二十三萬四千三百三十八圓の増加なり前年に於ては鮮人購買力未だ回復せず且つ日支交渉問題等本品の輸入取引を妨害せしも本年は景氣回復に伴ひ需要好況なりしに因る

▲ガンニー袋（増）　二十八萬五千百四十二圓にして十三萬六千四百十五圓の増加なり鱶業の盛況及び精米の輸出増加に依り著しく増加せしに因る

▲洋紙（數量減價額増）　七十九萬三千四百五十七圓にして十七萬一千四百四十四圓を増加せるも數量に於て三十一萬三千餘斤（約六分）の減退を見たるは歐洲戰亂の影響に依る市價騰貴の結果に外ならず

▲其他の紙類（増）　百十七萬七千三百十九圓にして二十九萬四千六百四十七圓の増加なり煙草製造業の發展に伴ふ煙草用紙の需要激増せしを主因とし其の他一般に需要の増加と價格の騰貴に依り輸移入額の膨大を來せしものあり就中鮮紙及び半紙美濃紙に著しきものありたり

初めて見た朝鮮滿洲の所感
朝鮮銀行調査局長　井内勇氏談

函館税關長を辭し客臘鮮銀に入れる氏は最近美濃部總裁に隨ひ滿鮮各地を視察中なりしが其の所感の一端を語る

▲帝國の殖民地　たる臺灣樺太並に北海道は既に一巡其の視察を行つたが朝鮮及び滿洲は初見參である、函館から朝鮮に來る時此の鮮滿は北海道や樺太などゝ異ひ豐廣として此の殖民地以外政治的に頗る重要なる所だし其の開拓經營は餘程進んでゐるだらうと思つてゐた、然るに朝鮮に來て見ると冬閑荒涼の時期たる關係もあらうが、道路や市街並に築港などは巨額の資金を投ぜられ豫想以上に整備してゐるけれども農業や漁業方面の開發乃ち玄關口でない臺所向の方面はまだ〳〵幼稚の域を脱しないやうだ、殊に工業方面は殆んど見るべきものがない、で如何にして此の狀態を切り開いて行くかと云へば予は天然富源をドシ〳〵進めて行くより外はないと思ふ、何も總を北海道にと云ふ必要はないが、假へば漁業の如き朝鮮沿海には隨分魚族も豐富と聞けど其の

▲漁獲法の幼稚　なる之れを北海道方面の漁業に比すれば殆んど兒戲に類してゐる朝鮮水田の大部分は天水に待ち其の灌漑設備は之れを耕地の全面積より見て極めて尠ない、と云ふが如きは朝鮮の經營上予等の實に遺憾に堪へぬと思ふ次第である、其他施肥にせよ種子改良にせよ、總て農事の保護政策を一層進めて其の結果を大ならしむると云ふ事は刻下の急務であるまいか、それには巨額の金がゐるので予の所見を窮極して來ると治道や築港等に投ずる經費を成るべく切り詰めても産業の方に廻すやうにする、東拓金融部の如き滿洲北進計畫があるさうで大變結構だが其の爲め朝鮮の拓殖資金供給を閑却されぬやうに希望したい又農銀も目下の營業狀態は殆んど不動産で農工資金より商業金融機關となつてゐるやうだが之れも可成其の本に返るやうにする、斯くして半島の富を殖し農村の狀態を改善し荒涼たる地方の振興を促して行きたい、富が充實して來れば

▲朝鮮の事業界　は漸次工業方面に移つて行くであらう、唯工業上より見ると朝鮮は天惠に乏しい、第一燃料の石炭がない、良質の無煙炭は海軍用にとられて終う、工業原料も各種の試驗の結果は良好とあるが借て直ちに之れを應用し採算十分なりや否や又直ちに見込みのつく多量の原料があるかと云へば今日の所甚だ乏しい、之等の増加は各方面に於ける産業の勃興による生産品の増加に俟つべし、將來如何にしても朝鮮は工業地として發達が出來なければ止むを得ぬが、兎に角此の勢ひを進むるに官民協力一致して進まねばならぬ、滿洲に行つて見ると兎に角此頃が一年中最も財界の活躍時期であるさうだが、各地とも豫想以上に仲々活況を呈してゐた、滿洲は朝鮮に比し總てに於て天惠が豐かである、第一に工業燃料の石炭が潤澤で直ちに安くて使へる、第二に直接直ちに加工品の材料となる大豆高粱等の生産が廣漠な土地から無限にとれる第三に勞働者が極めてよく働らく、滿洲の農業地並に工業地としての發展はこれらの資格で十分と云へる

▲土地の所有權　が事實上確實でなかつたり、田舎に出れば危險の虞れもあつたりするが、兎に角滿洲各地の内地人は十分に活動してゐる、唯貴紙に美濃部總裁談として報ぜられたやうに資本は若干不足の憾がある、此の方面の充實が出來、滿洲に今少し内地人が注目するやうになつたら其の將來は大に多望である、しかし朝鮮の内地人はそれにつけても鮮滿は朝鮮を遠く飛び超えてずん〳〵經濟的に躍進して行くであらう、滿鮮は跛行的發展を可成避け併行的に開發して行きたい、それは目下の所朝鮮の天然富源の開發に一層の努力を要す外はないと思ふ、これが予の鮮滿初見參所感である

鐵道荷動概況

一月中旬に於ける鐵道貨物輸送狀態を見るに發送噸數四萬六千四百六十四噸收入十三萬三百六十八圓にして之を前年同期に比較するときは數に於て千七百十七噸（四分弱）收入に於て一萬九千八百七十四圓（一割八分強）の増加を示せり本旬中出荷の主なるものを揭ぐれば

品名	噸數	品名	噸數
米	一四六三	豆粕	一〇三〇
石炭	四九四九	雜穀	一〇一三
木材	二八〇二	鮮魚	八九六
鹽	三三七七	薪	八五四
大豆	二〇一六	鹽干魚	六七五
明太	一九四八	石油	五三七
鑛石	一三六〇	綿	四七〇
木炭	一〇八七	石材	三六四

等にして鹽干魚、雜穀等一二貨物を除き前年同期に比し輸送數量を減じたるも其他の貨物は全部多少の進境を示したり今其出荷概況を述べんに

▲米　は内地移出に於て發送を制限され居るも鮮內發著數量の増加により荷動頗に活況を呈し前年同期に比し二千百八十二噸を激増せり

▲石炭　は本旬に入り稍活況を呈し前旬に比し五百六十八噸前年に比し千三百噸の増加を示せり

▲木材　は本旬に入り漸く活況を呈し前年に比し一千三百四噸を増加せり仕向地は京龍地方及び平壤大邱等を主とし新義州發鴨綠江材最も多し

▲鹽　は仁川發再製鹽が近時新に京釜、湖南線地方に其販路を擴張したる爲荷動活況を呈し前旬に比し千五百八十七噸を増加し前年に比し千四百九十二噸を増加せり

▲大豆　は連絡貨物發送制限繼續の爲め荷動頓に閑散を呈し前旬に比し著しく減少せり

▲明太魚　は出荷益々旺盛にて前年に比し一千三百四十四噸を増加せり

▲雜穀　は米豆共に荷動好況を呈し殊に安東發小豆の盛況により總數千十三噸を出荷せり

▲氷　は本旬に入り弗々荷動を見るに至り總數三百五十七噸を算せり

要之本旬の貨物輸送は年頭の閑散期を過ぎ荷動漸く常態に復し加之舊節季近づくと共に一般商勢好況を呈し前年同期に比し各種概ね著しき増加を示し特に米、鹽、木材、明太魚等の荷動旺盛なりしにより收入は頗る良好にして豫期の成績を擧ぐるを得たり

立花師團長招宴

立花十九師團長は四日午後六時京城記者團を千代本に招待し宴を催したるが席定まるや立花師團長の挨拶に次で阿部本社長の謝辭あり終つて宴に移り奇拔なる趣向の裡に一同十二分の歡を盡し十時過ぎ散會せり

人事消息

▲田中黄海道第一部長　四日夜入京浦尾へ
▲小川德長氏（工務課）　四日朝出京

南言北語

米獨も遂に國交斷絶之れで獨逸は世界の強國と云ふ強國を前に回して戰爭する事になつたから滿足であらう▲潜航艇戰再開の獨逸の宣言は獨逸の爲にはたしかに蛇足であつた▲列强に取り圍まれて刻々に終臨に近づかんとする獨逸はセントヘレナの奈翁に似た處があるから妙だ▲マレンゴの夢や佛國上陸の幻に轉々苦悶した奈翁の末路が▲巴里包圍の幻影や倫敦席捲の夢に煩悶しつゝある獨帝と能く似て居る▲米國の參戰は平和促進上から云へば或は唯一の有力な行動かも知れぬ之からの米國の行動が待ち遠しいわい▲早大の永井柳太郎君昂然として『近來大臣や代議士の中に堂々議會などで新聞記事は當にならぬと吐くものがある▲實に我々操觚者を侮辱した言である斯やうな人物は同業者一致して葬つて了はうではないか』と大氣焰▲傍から或人が『實に然り贊成々々、但し大隈さんも時々左樣いふよ』▲とやると流石の永井君も目を白黒して居たが『ウーン、それなら大隈侯も葬らう』は大に苦しい▲此の前の總選擧の時大阪市から『擁亂候補』と銘打て出馬したが無慘や總數十五票で落選した名物男宮武外骨君▲今度の選擧にも東京大阪兩市を股にかけて起つ意氣込みで既に發表した大廣告文の一節に曰く▲一昨春總選擧の際大阪市部より選擧界革命者告發候補者として起ち空前の大喝采を博したるに味を占め▲今回は東京大阪兩市を股にかけて威勢よく出馬せんと欲す▲と、斯うなつては奇拔を通り越して滑稽である▲之れと對抗する候補者こそ聊か閉口せざるを得まい

□漫遊途上
鳥兎生

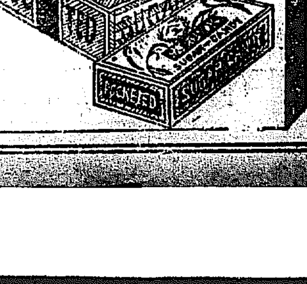
鳥渡行つて參ります雪の降り哉
何にを印す草鞋ぞ雪の幾萬里

聯合軍攻勢か

[illegible]切迫しつゝあるを推想せしむるもの[illegible]増兵案を可決せし英國は大[illegible]として判斷すべく佛軍は總司令官[illegible]軍戰線の攻勢準備の爲の大規模なる[illegible]英佛軍がヴ[illegible]ダン要塞西北側三[illegible]敵の南翼を脅かさんとし佛軍之れを[illegible]おける大規模の攻勢戰機が兩軍の間[illegible]なくとも獨軍陣地の第一線を突破す[illegible]の部局に主攻勢[illegible]等引續き開催せられ協商側各當局首腦部の軍事會議は前述の英佛軍春季攻勢に對して協商側各國軍の共同[illegible]

○勸業貯蓄債券賣買並に月賦販賣廣告
△年々組賣長期割拂（此の一組を所持すれば毎月抽籤を樂しめます）
甲、廿圓券六通、四十ケ月拂、毎月二圓八十錢宛　他に申込料二圓八十錢
　十圓券五通（二）廿五ケ月拂、毎月二圓二十錢宛　他に申込料一圓七十五錢
乙、五圓券一通（二）卅六ケ月拂、毎月一圓五十錢宛　他に申込料二圓五十二錢
　十圓券一通（二）廿五ケ月拂、毎月一圓四十錢宛　他に申込料二圓六十錢
丙、五圓券五通（二）卅六ケ月拂、毎月一圓宛　他に申込料三圓六十錢
（右は御申込當時の當店賣値段にて契約し最終の御拂込金を計算致します）
○長期に限り申込料は共に御割引
△月賦詳細規定書御申込次第進呈す
△短期月賦拂は三、五、十、十二ケ月拂にて御望の債券を一通にても御約定す
△當店賣買値段は毎月一日廿一日は大阪朝日、十一日は大阪毎日新聞に發表す
△當籤番號揭載中野商報無代進呈す
△債券送料三十錢要す　電話土佐堀一六六二　振替大阪一九三二
△勸業大券賣買取扱
大阪市西區靱北通一丁目
中野商店債券部

ポケット用
氷砂糖
名譽大賞并に金牌等拾數回受領す
大一個金五錢　小一個金二錢



製造元　大阪市西區住吉橋北詰
三木治助商店
電話西二〇〇四番　電略（ミキ又は三）
全國到る處の菓子店食料品店に販賣す

美術月報
無代價　三都諸大家書畫數十點寫眞版に發行
筆限　賣し遠隔の地にても安心し購入に至便なる製本
保證　一部十五錢一ケ年一圓五十錢見本は郵券十五錢
責任　申込所大阪市心齋橋筋周防町三番地　竹中虎夫
特別會員の募集　會員は京阪審査家揮毫半切書一葉宛及月報一ケ年分送呈す、會員は會費一圓十錢拂込の事申込は大正六年二月中書は同年三月中に送呈す

誠實なる製品、之れ安全第一

帝國製麻株式會社製品
東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店
京城府龍山元町三丁目五十七番地
村松武八商店　電話二六番
營業種目　麻、綿、ズック、ダック類販賣
和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負
天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式
特許品（木材防腐劑）　クレオソリーム
東洋木材防腐株式會社製　クレオソート

…對獨軍の相互大攻擊の開始期が近く ▲戰鬪力の充實せる…名乘りを…最近のルーター電報が佛國に於て小攻擊を續行しつゝあるもの…レプコッフ地方に兵力を集中して…れりとの報あるに見るも西部戰場に於ける其充實せる英佛軍の攻勢能力は少くて巴里會議と羅馬會議及び露都會議…

●何故に斯の如き不幸を見たるか

一週間に渉る全市の夜間斷水

萬一、火災の際は 送水に遠近平均三十分を要す

四日本紙夕刊にて逸早く四日午後七時より翌日午前六時まで京城全市の水道斷水すべきを報道するや夕刊配達前後即ち午後五時半頃より突如此の飛報を耳にせる京城全市民の驚駭一方ならず然かも幸ひに斷水までに何れ一時半乃至一時の餘裕を發見したる事とて多量の水を使用せる向きにあつては

◆倉皇應急の用意を爲し以て多大の不便を免がれ得るに至れるが今回突然全市の給水制限を爲すに至れる經過に就いては直ちに水道當局者を訪うてその理由を質したるに藤澤水道係主任は先づ語つて曰く『實は水道當局では今回の如き場合の生ずる事を虞れて出來得る限りの手段を講じ來つたのですが一日頃から漸次配水量の上つてくると同時に貯水池の水量が減少して來て三日夜の如きは一尺五寸といふ

◆稀有の減水を見たのです、此の狀況を見て直ちに全市の給水制限を行ふと思つたのでしたが夏季に於ける減水と違ひ給水池の故障から來る減水とはその事情を異にしてゐるので暫らく持ち堪へて自然の增水を待たうといふ方針で四日朝まで待つたのですが午前七時になつて見ると漸く九尺五寸となつたけれども之れを平日の同時刻貯水量に比すれば非常の減少の差を示し前途を危ぶんで居つた所時間を經過するに隨がつて減水の度を增して來る一方であるので此のまゝ打ち棄て置けば市中

◆全體の給水不可能となり却つて不公平となるところから已むを得ず午後三時に至つて絶對絶命茲に比較的使用數の少ない夜間即ち午後七時から翌日の午前六時まで斷水を決するに至つたのです、私の方としましては殆んど病體にある水道を看護しつゝ動く限り動かせて居つたのですが遂ひに活力を喪つて終つたわけで何んとも致し方が無く、暫時の給水制限と故障のための放水の已む無きにある水道栓の修理を待つて完全に給水する事にしたいと思ひます

◆給水制限の期間は現在の見込みでは約一週間と見當を付けて居りますが日々進めて居る工事の都合で或は多少遲延するか知れませぬ、然かして夜間失火の際にはそれが若し多くの水量を要しない場合には消火栓の有する水量に信頼して送水しませんけれども大事に至るやうな場合には直ちに水源池の排水栓を開けて送水します、その際送水に要する時間は遠近平均三十分と見れば十分でありますが、此の際特に市民にお願ひしたいのは給水制限時間に於ける失火の注意をせられたき事であります

◆警務總監部兎狩隊の東小門進發　四日午前十時—先頭は隈部大佐

●勇ましき竹刀の響

仁川專修學校の寒稽古

二尺五寸の竹刀に渾身の力を籠めてお面！お小手！と絶叫を競ふ氣勢や、鐵腕を振ひ肉彈相搏つて五尺の身體を練る寒稽古連が殘月の滴落人の狀み聲すなど悲壯な詩を吟じ作ら曉の夢を破つて道場に通ふ期節となつた

▲仁川では目下仁川分監と商業專修學校との二箇所で午前の六時から七時半迄寒稽古を演つて居るが何れも非常な熱心で電燈煌めく道場の床を蹴つて曳、ヤーの掛聲も勇ましく龍攘虎搏の活劇に火花を散す物々しさ

▲就中專修學校では小學校の雨天體操場を柔道部劍道部の二部に別つて劍道は御大の楠原習太始め西川、中村、平野、稻田の面々柔道は增田初段を始め猪川、高田、八木、岡倉の猛者連共他數十名の小猛者が冷めたい床に胡座を搔いて控へて入り代り立替り挨合ふのであるが深々とこむる夜は淡い電球を包む程で投げ合ふ音竹刀の響きは底寒い黎明の氣を揚つて痛烈に聞ゆる

▲加之に中島小學校長分監よりは畠山外二三の劍士警察署其他市內有志數名の他流飛入りがあるのでさなきだに凛々たる覇氣に溢れた寒稽古の緊張の上にも緊張を加へて零下十何度と言ふ酷寒にも拘らず全身熱汗に塗れて稽古の後では氷を破つて水を浴びたくなる程だ

▲併し道場に入つて稽古着に著替へる時は浸み込んだ汗が氷つて素肌に刺す様な痛みを覺ね冷めたい刺子袴や床の上に素足で出る時は腦天がジリ〳〵する程冷めたくて流石力山を拔く豪傑連も覺えず身ぶるひと涙を滾す者があり、兩腕を堅く組んで控へて居る時なとは全身がガタ〳〵顫へて齒の根が合はぬ事もある

▲始めの中は對手の胸倉を摑んでも自由が利かず投げられても反動が取れず、竹刀の先が臂にでも當ると飛上らん程の痛みを覺えるが二回三回と猛烈に鬪へば心頭熱して勇氣百倍し暖かくなる迄も竹刀を輪して見たがるとの事で殆い道場の中には十組以上も柔道擊劍入亂れて稽古を勵んで居る

▲同社の寒稽古は二月十日迄繼續し紀元節當日は式後武道大會を催ほして京城からは隈之內師範外門下生數名を招聘し分監警務部各學校市內有志の飛入りもある筈で大會後は數釜に汁粉を炊いて猛者連の健鬪を犒ふ事になつてゐる(仁川支局)

●鳴物入りの兎狩り

長谷川總督一行の狩獵戰見物

總司令官は古海將軍=本隊と別働隊=二十三反の張網=全山の總攻擊=獲物は兎二頭=萬歲の三唱

憲兵隊司令部警務總監部に京城憲兵隊本部の參加した總員百餘名の兎狩り大會は四日京城市外高陽郡崇仁面地方で開催された當日の役割は警務總長古海將軍を總司令官とし網手の班長が永谷警視、勢子班長が山形憲兵大佐、炊爨係の班長が宗本主計正といふ割當てと

▲曉の寒威を冒して午前九時といふに早くも別働隊の永谷課長永野警視の一行約三十名は京城から二里餘を隔てた加五里方面に先發した、本隊とも言ふべき大部隊の一行は同九時半を期し東小門巡査派出所(鍾路署管下)に集合した、一行は古海將軍以下給仕傭人小使に至る迄の聯合に二三の新聞記者が觀戰武官格で參加した何れもの服裝はと見れば平素嚴めしき憲兵服や警官制服の山形大佐亥角、中野兩警務官など

▲瀟洒な輕裝の狩獵服や背廣服に化けてゐる色の脚袢や山行姿の草鞋束靴あり草鞋あり足袋から一見見分けがつき難い、其の他は何れも…跣足あり脚袢卷脚袢、眼鏡帽子や覆面頭巾手袋、萬樣の服裝は宛然馬賊の群とも間違はれ相な一行の元氣は天を衝くの概ありともいふべきである軈て山形大佐指揮の下に勢子へあり之れを中央及び左右の三隊と爲し亥角警務官、大橋副官、山田醫正各隊長となり別に獵銃携帶の一小部隊は中野警務官之れを指揮し…

▲牧場裏手の小松山を圍繞して兎一匹洩さじの用意し二十三反の張網は遺憾なく張り廻されてあつた、麓には目標の赤旗白旗が寒風に飜り一行の勇氣は今や全山に殺到すべく沖天の勢を以て命令の一下を俟つ間もなく山形班長より『それ掛れ!!』の命令あるや鉦や法螺貝乃至は石油空罐、鐵葉板などの鳴物を合圖とし手に〳〵雜竹、棍棒、洋杖などを提げて鯨波の聲を擧げつゝ物々しく兎軍鏖殺の第一戰は開始された鳴り騷ぐ鯨波の音は谷間の

▲木立に反響して一行は砂礫の嶮坂や巨岩の懸崖を右に辿ひ左に走り松の根に縋り枯草を手寄り寸餘の積雪中を怪しくもだら〳〵の小砂利を踏しめながら山巓へ押し寄せた、扨て獲物はと一同顏見合はせたが遺憾ながら彼れ兎軍早くも風を喰つて遁走したものか第一戰は見事の敗軍に歸した、時既に午前十一時！亥角課長曰く『兎に出し脫けに逢つたわい……』茲に一行は山を降つて敦岩里の元山街道に集合した、此時既に總司令官

▲古海將軍は自動車で同地に到着してゐた、尙當日長谷川總督は副官秘書官等を隨へ自動車を驅つて古海將軍の自動車と相前後して敦岩里に到着し街道に自動車を乘り棄て、總督は自ら一行の狩獵戰を見物され、そこの山野を巡覽して引き揚げ農家の一軒の人家に立寄つて親しく附近人の生活狀態を視察し直に自動車で京城へ歸邸された、扨說一行は再度の勇を鼓し第二戰の陣容を整へて悠々敦岩里を引揚げ同地より約一里餘元山街道を東北進して崇仁面月谷里李王職所管の苗圃附近に到達した、同苗圃の背面に格好の松山がある此所を第二の決戰地として前同樣大擧して全山の總攻擊を行つたけれど僅かに雉子數羽を追ひ立てたのみで是亦敗軍に終つたが時既に午後一時過ぎ一同の

▲氣勢振はず止むなく退陣することに評議一決し遂に歸路に就き山を下り谷を跋り田を過り松林を拔け峻坂を踰ゑて辛くも豫て用意されたる炊爨本部なる同面貞陵里の興天寺(お寺)に引揚げた頃は午後三時前であつた。一行は空腹と過激の活動とに疲憊し切つてゐたが茲には狩獵服の古海將軍が先著して一同の勞を犒らひ炊爨班からはいろ〳〵の饗餐が獻立され饗應されたもので一同

▲蘇生の思ひをした、尙別働隊たる永谷警視の一行も遲れ走せに同寺で落合ひ共に甕餉を喫したが同隊では有繫に遠征しただけの賜物として二頭の兎を天狗顏に持ち還つたが軈て古海將軍は太田大尉を隨へ凱旋として一同より一步先に騎馬にて歸京した斯くて總員の萬歲を三唱し茲に目出度一日の清遊をゆくりなく盡しく一同歸京の途に就いた頃は午後三時半頃であつた

興天寺で兎汁

◆賢明なる市民は、斯の如き一寸した不注意により市民全體に迷惑を及ぼさざるやう注意せられたし

水道の夜間斷水に就いて第一番に注意すべき事は斷水時間中又は停水間際に水道栓を開いて水の出ないところから引返す際に於いて閉栓せずにおくと午前六時の送水時刻に至りて一時に噴出して附近に洪水するのみでなく、水の徒費は夥しいものであるから一般使用者は注意されたく三日夜一部の停水を行つた箇所に於いて四日朝に至り開放しの水道栓から吐水してゐた所が大分あつたさうである

兵營生活此頃

◇馬に鼻の先で笑はれる事

◇呪文を唱へて馬を睨み殺す事

◇『騎を後方へ曲げ……始めッ』と號令がかゝると、馭でも手綱をしめて馬の背の上へ仰向けに寢なくちやならん。何を云つても上下動、水平動と地震の猛な極めて居る馬の上の事とて、ベットの上に寢轉ぶ樣な樂なものぢやないが、それでも皆思ひ〳〵に仰向けに反り返つてしまふ

◇中には反り返つて居る心算で、首だけ反り返つて居るのもある。

◇軍長谷川はどうした、龜の子の樣に首ばかり動かす奴が有るか、活潑にやれッ！と澁江な波つて怒鳴る相な下士の聲に、ヒヤリと仕た途端思ひ切つてペタリと仰向けになつた

◇兵卒も馬も同じ位ガラ〳〵と歸り出して逆立ちなしたかと思ふと、哀れ騎の兵は鐵の樣に轉がつて土塊の上へ墜落してしまつた

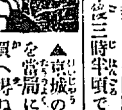
◇而も馬の奴めは、氣の毒な苦しさうな笑みを鼻に浮かべて五六步先きに振返つて看てゐた

◇馬と云ふ奴は怜悧なものだ。この騎乘者は上手か下手かが直ぐ理解してしまう。

◇早い話が馬と睨めつくらをして負ける樣では人間と雖も馬鹿にされて落されてしまふかも知れん。その代り睨み殺してしまへばもう此方のものだ。その馬は自由自在に動かせる事が出來る。

◇併し馬と云ふ奴は臆病な獸だけあつて抑々大きな晴々とした眼玉を持つて居るので、迂つかりすると威脈されてしまう『少くても此方は辛い〳〵』と口の中で呪文を唱へ作らとう〳〵睨め殺してしまう。

◇馬と云ふ奴は賢い樣でも人間の樣には…ない…見へる。



▲京城の消防自動車を當局に金が無くて買へ得ぬので金谷府尹宮館署長等が頭を捻つてゐると紹介して置いたら▲早速一市民よりとして參千圓の內金二百圓丈小生寄附仕度御取次下さらば何時にても持參仕る可く候也と端書で申込んで來た人がある▲無論御持參の上は何時でもお取次致す心得で居るから其邊御遠慮なく御申越相成りたい▲大村商業會議所書記長は兩足とも左足の防寒靴を穿いて澄ましてゐる▲何でも露領へ行く前鞄屋に行つた際殘りの左足二足だけしかないといふことで▲夫れでもよいからとそのまゝ買つて穿いたのださうな▲右足ばかり買つた客も客なら左足ばかりで濟ます大村君も大村君でこゝらが神の味かと音を捻つてゐた人があつた

商業登記公告
株式會社都橋市場取締役直野市五郎辭任に付補欠選擧を爲し左記の者大正六年一月廿七日就任したり
京畿道開城郡松都面南本町三十八番地の一　古谷石松
同道同郡同面西本町二百六十一番地　金濬
右大正六年二月二日登記
京城地方法院開城支廳

善隣商業學校生徒募集
本科一部一年(內地人)五〇名
本科二部一年(朝鮮人)五〇名
豫科一年(內地人)六〇名
夜學專修科(內地人)八〇名
夜學高等科(內地人)五〇名
規則書入用ノ方ハ郵券二錢封入セヨ
入學願書提出期限三月一日ヨリ同二十五日マデトス

第十回 伊東祐穀著 袖珍世界年鑑 (二月一日發行)
特價金一圓二十錢 送料金八錢
發行所 東京堂書店 丸善株式會社 全國各書店

朝鮮鑛業要覽 定價一部一圓廿錢
附圖 朝鮮地質鑛產圖
京城日報社代理部、大阪屋號書店

客室 食堂 完備 ファミリーホテル 京城南大門通三丁目 電話一二八番

自今禁酒 瀧川靜江

新刊
書名 著者 定價
冒險お伽噺 和田垣博士 一、〇〇
全譯ザニン 武林無想 一、〇〇
播かれたる種 近藤經一 一、〇〇
我が日蓮主義 佐藤鐵太郎 一、八〇
帝國國防論 衣斐鉊吉 一、五〇
人體の現象 三輪太郎 一、〇〇
小學教師としてのトルストイ 三浦 一、〇〇
法學通論 金森德次郎 一、八〇
民事訴法判決質例 鶴松堂 三、〇〇
鑛業法令集 中村彥元 一、三〇
朝鮮鑛業要覽 京城 一、二〇
大正青年と帝國前途 德富猪一郎 一、八〇
商等文官試驗問題集 廣松堂 六五
京城本町 廣松堂書店

廣告
陰曆正月休業中の處二月一日より從前の通り營業開始仕候間何卒御引立の程上候
京城觀水洞(水標橋北) 中華料理 大觀園 電話六三三番

最新刊
當世百道樂 堀內新泉 一、二〇
支那語大辭彙 石山福治 四、五〇
水力タービン 內丸最一郎 三、〇〇
銀行論 山崎覺次郎 七〇
口語法 文部省 四五
明治…
近代小說史 藤岡作太郎 二、五〇
墨西哥と其天產 村岡玄郎 一、五〇
結婚と合性 …
死者生者 正宗白鳥 九五
無我の生活 新井石禪 九〇
獸仙禪話 日置默仙 九〇
日蓮聖人の孝道 …
日蓮主義 本多日生 九五
木堂翰墨 …
古今名家書簡集 …
ある青年の夢 武者小路實篤 四〇
小說つきぬ涙 …
ドンキホーテ冒險お伽噺 …
尋常高等全科參考書前期用其他入學參考辭典類 …
京城本町一丁目 大阪屋號書店

富の道しるべ 村上唯吉著 京城日報代理部

朝鮮駐劄軍司令部 師團司令部其他 陸軍諸官衙御用達 軍隊用品一式販賣 京城府龍山漢江通八番地 安藤誠一 軍人向の品物は何でもあります 御一報次第御送付致します

京日案內 普通 番外

店員入用 十五歲以上十八歲迄 希望者來談あれ 本町一丁目 大阪屋號書店

金銀銅鐵錫石炭鳥獸毛皮 … 東京下谷車坂町五四 … 京城

礦物定量分析 坂元分拆所 朝鮮公論社 太平町二丁目

有給外務員採用 三十歲以上 午前來談 京城明治町一丁目四六 東京國債支部

オキシヘーラー賃貸所を龍山に設く 希望者來談又は電話 京城府櫻町一の五九 酒本保全堂

質業 岡村質店 旭町二丁目六番地

生徒募集 ミシン …

怒濤の月

七十 小林蹴月作 武内桂舟畫

操の一念『十四』の二

生れてから、只の一度も面白いとか嬉しいとか云ふ事に出會つた事がなくて儚なくも獨り死の關路へ急がねばならぬ運命に立ち至つた我が可憐薄命なら絹代は、やをら身の廻りをまさぐり探つて、一筋の下紐を解き放した。そして、鴨居か欄床の塗りに、それを投げかくるべき場所もあらば……と打透しては眺め回すのであつたが、生憎と適當の死場所を見出す事が出來なかつた。絹代は、弱り果てた。什うしても、此家を逃げ出さねば、死の目的さへも遂ずる事が能ぬのであらうか？否を噛むとやら云ふ事は自分のやうな纖弱い者には爲し得られぬ事であらうか？絹代は、身を悶ねながら、よゝとばかり聲を上げて泣き伏したのである。

音沙汰もなく、電氣の輝きが頭上に照り渡つた。冬の日脚はもう夜に近いたのであらうが、暗室の夜は、反對に明け渡つたやうな明るさとなつた。絹代は、只何がなしに、神か人かゞ自分を助けに來て異れたのであるまいかとのやうな氣も爲た。けれども、それは、ほんの一時的の自分勝手から出た空囑みであつた。

『絹代さん、お覺悟が付きましたかね、もう追付け松崎さんが、用達を濟まして歸つてらつしやる時分ですから、その前にちやんと覺悟を極めときになりませんと、双方の大損になりますからね。』

壁の外から聲を掛けながら、松崎の卸していつた錠を外して、中へ顔だけを差入れた女は、言ふまでもなく此の家の女將お吉であつた。

『……あの、済みませんで御座いますが、妾、お厠を拜借したいんで御座います。』

絹代は、重ねて此の暗室へ押閉められるまでも、外へ出て見ぬ事には仕様模様がないと思つたからである。

『好う御座いますともね、妾がつい御案内して差上げますから……』と女將は、無雜作に絹代の手を取つて薔の座敷へ引張り出して來れた。

『其處の裏梯子をお降りになると直ぐですからね。』

『はい、分りまして御座います』と絹代は覺束なげに裏梯子を降りかけたが、此處でも幾度か、眼が眩んで頭の中がくら／＼つと爲かけた。此の有様では到底逃げる事も死ぬ事もなりは爲ないと思つた。

そろ／＼と幽靈のやうな姿で薔の二階へ歸つて來ると、底光りの烈しい目で、きちんと其處に待ちかまへたお吉女將は、今更のやうに染々と絹代が窶れ頬を覗入つた。

『貴女、餘程工合がわるくてお在のやうですが、お寒けりや、妾の衣服を貸して進げませうかね。』

『御親切に有がたう御座います。昨晩から碌な寝ずに居りましたもんですから……。』

『本統にお氣の毒でしたわね。それに就けても、一刻も早く松崎さんの被仰る辭にお從ひになつて、氣樂に安心に、養生でもなさらないと、貴女、命が堪りませんよ。貴女が飽まで剛情をお張りになつた所で、松崎さんだつて、一個の殿方ですから、どうせその儘ぢや濟みませんやわ。ですからね、今にも松崎さんが歸つてお在になつたら、嘘にでも程の好い笑ひ顔を見せて進げて下さいね。好う御座いますか、絹代さん、妾までが此の通り、兩手を支いて、お願ひするんですもの。』

虎の對手の猿遊アとは、無論その顔付を見たばかりでも分つて居るのであるが、絹代は、固よりそれに答ふるべき語を知らない。

『好う御座いませうね、絹代さん、彼のお方だつて、意地なればこそ強い事も被仰るやうなものゝ、心の奥底は、直個柔和に出來てらつしやるんですから、必ず貴女の心配なさるやうな事はありや爲ませんの。ですからね、是非共ね、此の媒酌役は、妾に任しといて下さいよ。絹代さん、乾度否やは御座いますまいね。』

是等が眞に手を換へ品を提へての脅迫なのであらう。奪銃で赫し、暗室で苦め、今又老猾なる女將の猫撫聲でもつて、引くも反るも絶對に出來得ないやうな板挾みに遇はせてまでも、松崎は是非共今まで清淨堅固なりし絹代の靈肉を、一時に墮落せしめやうと云ふのである。

□英人の僧侶 西藏に入らんとす

本派本願寺の僧侶英國人マック、ガパン君は西藏佛教の緇奥を極むる爲めに今度平安中學の英語教師を辭任し三十一日正午神戸解纜の香港丸に乘つて一先づ臺北に向つた同氏の母君は目下臺北中學に英語教師を勤めてゐるが却々の文學者で創作も尠くないと云ふガアパン君は久し振りに

△お母さんに逢ひ 十分に情を休ませながら專ら西藏に入る準備をするんだ相だ大正三年四月に平安中學英語教師に就任するまでは九州川邊中學に於て同じく英語の教師をしてゐたが日本にあることは前後五年に及んでゐる

△佛教の研究 は氏が終生の目的である西洋人中にも一寸此位佛教のことが解るものは尠いと云ふ佛教中でも特に眞宗の教理に熱心であつたが遂に研究丈けでは滿足が出來なくなつて去年の春得度を受けて本願寺から僧籍を貰ひ頭を剃法衣を著けて時々覺束ない

△日本語でお說教 を試みたりしてゐた近頃はまた眞言宗にも大分熱心になつてゐたが西藏佛教に對する憧憬の心抑へ難きものがあり遂に今度の雄志を實行すべく一先づ母のゐる臺灣に渡つたのである氏は大した學歷を有つた人でもなく別に肩書もない人であるが其の熱心と努力とは實に驚くべきものがある當年未だ二十六歲であるから前途大に有望である譯だ（京都）

珍候補者に女 漫ろ力瘤

はモウ一層油の强い珍候補が出さうである其珍候補の中の尤なるものは「ペンキ屋」なる[illegible]を發行して居るのであつた今度も矢張り[illegible]はす選擧法に反した行爲があると見るさうなさうして兩市で告發する[illegible]三日大阪市で立候補を宣するのであるさうなさうして兩市で他の候補者[illegible]も宮武君のは皮肉で面白い例の阪本紅進さんは今度も打つて出るさうで如く戶別訪問は全然せず演說計りで投票を集めるのだと云つて居るこれ[illegible]

□大田湖南吟社句集

二日灸

座屑撫てゝ貼りけり二日灸 月波
二日灸毛脛明いて貼すらく 同
黑子大の去年の痕を二日灸 待宵
家傳秘法自摸撫して二日灸 靑峰
大男我慢の汗や二日灸 不倒
親らしく子らしく貼る二日灸 三舟
七癖は癒らんものか二日灸 同
馬追の胸毛しや硬し二日灸 十市
花和尚の文身惜しむ二日灸 靑葉
不治病の煩骨高し二日灸 雅溪
齋藥の痕むつかゆし二日灸 松年
憎まれ子の掛瓣つよし二日灸 風骨

新能

芝能の糟側盤の寂として 春三女
芝能や三笠春日は纓綸の様 同
芝能や煙の隙に能衣裝 靑堂
薪能の塔より高き煙哉 十峰
薪焚く煙にそむく能師哉 中市
門金具靜々として薪能 紅京
芝能や烟舞ひつゝ門を出つ 不星
芝能や雜仕焚火に小謠す 待倒
立見する踵の冷わや薪能 風宵
薪消わて聰逐き能雛子 同
薪つく畑にシテの面ほてり 同

冴わ返る

古城の幾度癒わす凍て返る 十市
柿に藏す餅のぬめりや凍て返へ 同
宵に繫きし小舟動かす冴え返る 中京
覧牛の血の凝結や冴わ返る 春三女
冴わ返る巷に稀な下駄の音 東天
冴わ返る縁に覆ひたる小鳥籠 不倒
冴わ返る干さて仕舞ひし餅の黴 同
田舍市冴わ返る日や馬賣らん 靑葉
賣り惜み炭百俵や冴わ返る 風骨
片足て立つ梢の鷄や冴わ返る 同

新刊紹介

▲朝鮮及滿洲（二月號） 東京より讀者へ（釋尾旭邦）余の觀察せる南洋の將來と日本（新渡戶博士）國民の特性と我が對鮮覺悟（森御陰）等を初め朝鮮に關するものには朝鮮に於ける立法方針（安達大壽計）新朝鮮人の族譜に就て己巳年の出來事（藤戶慢房）朝鮮人の族譜に就て（淺見倫太郎）朝鮮の書風（黑柳不耳）朝鮮統治の要諦（渡邊宜一）及び精神的生活より見たる在朝鮮内地人の幸福と不幸なる題下に於ける井口牧師、齋藤音作、藤岡牧師の說等あり其他滿洲和揶と同工異の將來關東名物同好界の裏面小說不思議な胡弓滿洲の人物朝鮮及滿洲觀聞等、悲談慈夢、義太夫投票等も面白く文苑海外異聞雜錄等亦如例（二十五錢京城旭町三朝鮮雜誌社）

▲學生（雪花紛々號） 長與博士の生理的腦力經濟法 澁澤博士の納底のスキー英首相の聯合軍の勝つ理由獨海軍中佐の國體討鑽突破記錄の特別讀物を初め山中鹿之助（大町桂月）等中の標榜修行（中村經二）及び凸坊小說物獎、英文茶目と泥棒、面白き數學吉話、漫畫學生々活學生新聞等依例賑かなり（二十錢東京市神田區裏神保町富山房）

▲財界經濟時報（二月號） 法學博士本多精一氏主筆にして每號財界重要記事を收む本號には歐洲の平和克復すれば（社說）有價證券に對する金融（本多博士）投資禁止法の制定と惡國條款（河津博士）法中鑒業固定準業（高松博士）及び戰後の金利、時局と商品調査、經濟上の文明、世界と日本其他見るべきもの多し（廿七錢東京市京橋區尾張町一の一共社）

▲大田實業協會月報（新年號） 觀貨、實業、交通、倉庫、金融、漁業市場狀況其他如例（八錢大田本町一共協會）

▲良民（新年號） 青年團體一日一善模範日早起郷等の各部門に分ち實踐躬行を主として專ら良民の養成に努めたり（五錢東京市麴町區平河町五ノ三六共社）

▲論の友（二月號） 論の続には百萬、痛、身禱應等あり黒人樂師、自由論壇、謡曲問答其他如例謡曲に關する好文字を收む（十五錢東京市神田區猿樂町二ノ一能樂通信社）

▲戰友（二月號） 七錢東京市麴町區飯田町二ノ五ノ二帝國在郷軍人會本部

▲ゼ、ユース（五ノ二） 十二錢東京市麴町區内幸町ジャパン、タイムス社

◉手癖の悪い雇人 忠淸道[illegible]竊取し此程京城分隊徳沼里派遣所の[illegible]里居住の千[illegible]泰方に忍び込み衣類十[illegible]

てんかん ヒキツケ

困難の方切手三錢送れ永年の病いも自宅でなをす最善の良法を教ゆ

◉名古屋市中區南小川町 救生館

中風病

余が家は祖父及び父と母と三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其悲しき實驗より得たる良藥を往復ハガキにて照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書を無代進呈す

兵庫縣明石郡治屋町 加古忠兵衛

百圓進呈

返信券添へ照會あれ詳細回答す

りん病 ばいどく 調合藥 特製一圓 並製一圓

麻病藥主藥は治癒劑こし梅毒藥主藥は驅梅内服藥こし醫學上最有効こ確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せらるゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料こして金百圓呈進

◉あらゆる治療を試み効なき患者兎に角一度相談あれ

にせ物に注意 京城大連青島其他到る處偽物を賣る奸商あり商會製劑を御購求の諸君は大阪有田の鑑製を御確可被下候

振替京城四六七番 電話長二五六七

大阪 グッドラッグ商會 京城南大門外 他藥店ニ販賣許サズ

内外科 小兒科 花柳病科 入院隨意

京城長谷川町 安東病院 電話七三番

新荷着 懷中時計

アルミ・ベル製 機械ルリン

機械優秀低價格、紀念品ある實用的確正針示天下無比

（ニッケル側）十八形 一圓九十錢
同 （片蓋） 二圓五十錢
同 同 三圓二十錢
同 十六形 六圓九十錢
同 八日卷 四圓五十錢
同 十六形 六圓二十錢
同 日曜付十六形 十二圓卅錢
同 十七形 五圓五十錢
同 （兩蓋） 四圓五十錢
（銀側）ラジエーム入十八形（兩蓋） 四圓五十錢
同 同 十六形 五圓五十錢
同 同日曜付 二十圓二十錢
同 十六形 七圓
（銀側）三形十二形（片蓋） 八圓
同 十二形 七圓
同 十七形 五圓二十錢
（金張）十六形（兩蓋） 四圓
同 同 （片蓋） 十圓
（金側）十年保險 十八形 三圓
同 十年保險 十七形 六圓
同 同 （片蓋） 二十八圓
同 同 五十圓

流行腕巻時計 至三百八十圓 金十八形 ニッケル入 自百五十錢
同 十三形ラジエーム入 七圓五十錢
同 十四形 十三圓
同 十四形（銀側） 十四圓八十錢
同 十三形（銀側） 十九圓
同 十二形 二十圓

右は今回新着の商品にて本商會取扱の品は他店に無き品のもの伏して願はくば念の爲め地方諸彦の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商

イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番

懸賞語呂合大募集

語呂合題 ハカリ印のヘブリン丸

語呂合こは口合。地口の類なり

例へば
（題）花はさくらに人は武士……（答）山ははるかに木もかすみ
（題）銚子の箸には鰐が取れる……（答）餐子も望けりや皆々樂る

懸賞壹等百圓以下千人迄

◉贈呈賞品

◉壹等	壹百圓	帝國公債にて	壹人
◉貳等	五拾圓	右仝	壹人
◉參等	參拾圓	勸業債券にて	壹人
◉自四等至十等	白濱縮緬	壹反宛	七人
◉自十一等至百一等	鯨筒付革嚢入	壹個宛	九十人
◉自百二等至二百一等	最新懷中電燈	壹個宛	壹百人
◉自二百二等至三百五十一等	古代更紗紙入	壹個宛	百五十人
◉自三百五十二等至五百五十一等	ニツケル製文具函	壹個宛	二百人
◉自五百五十二等至壹千等	裂地卷煙草入	壹個宛	四百五十人

計壹千人

規定

◉用紙は官製はがき（壹枚壹句を限り此廣告を見たる新聞名附記の事）◉住所氏名明記の事◉宛名は大阪市東區北濱一丁目ハカリ印のヘブリン丸本舖合資會社參天堂藥房懸賞係こ記載あれ◉照會は往復はがきに限る◉此規定に違ふものは沒書こする事あるべし

◉〆切來る二月二十八日着信限り◉入選千句の印刷物入用の方は發表後貳錢郵券送附あれ◉賞品は當選發表後一週間内に發送す◉當選發表來る三月中旬此新聞に三等迄掲載す◉同句類句は先着を取り同時着のものは抽籤に依る

選者 浪花 香川蓬洲先生

選評立會 大阪每日新聞社 薄田無憂樹先生 大阪時事新報社 中井藍微塵先生

かぜねつの最良藥 ハカリ印のヘブリン丸 登録商標

本舖 大阪市東區北濱壹丁目 合資會社 參天堂藥房懸賞係

瓢水味淋

登録商標 堺 鳥嶋釀

專賣店 前田酒店 京城本町二丁目

花柳病專門 外科

◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病◉睾丸病◉肛門病◉皮膚病◉婦人病◉神經衰弱◉六〇六注射包皮其他手術每日◉診察無料◉入院隨時

京城長谷川町南大門通農銀裏 司生堂醫院

贊化病院

京城本町二丁目 電話二四二番

内科 小兒科 入院隨意 無料施療す 毎日五名を限り

醫學博士 古城憲治 同醫學士 上野亮藏

大邱浦項間自動車時間

上り 浦項發 前六、一〇 後一、一〇 / 安康同 七、〇〇 二、〇〇 / 慶州同 七、五〇 二、五〇 / 阿火同 八、四〇 三、四〇 / 永川同 九、二〇 四、二〇 / 河陽同 一〇、〇〇 五、〇〇 / 大邱着 一〇、四〇 六、〇〇

下り 大邱發 前六、〇〇 後一、〇〇 / 河陽同 七、〇〇 二、〇〇 / 永川同 七、四〇 二、四〇 / 阿火同 八、二〇 三、二〇 / 慶州同 九、一〇 四、一〇 / 安康同 一〇、〇〇 五、〇〇 / 浦項着 一〇、五〇 六、〇〇

大塚農場自動車所 大邱出張部 電話二一七番

金泉醴泉間自動車時間

上り 金泉發 前八、〇〇 後一、〇〇 / 尚州着 一一、〇〇 四、〇〇 / 尚州發 一一、三〇 四、三〇 / 醴泉着 後一、三〇 六、三〇

下り 醴泉發 前八、〇〇 後一、〇〇 / 尚州着 一〇、〇〇 三、〇〇 / 尚州發 一〇、三〇 三、三〇 / 金泉着 後一、三〇 六、三〇

▲小荷物運搬仕り候 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

○大連行、秦皇島行 三河丸 二月十日正午出帆 / 相模丸 二月十九日正午出帆 / 砂丸 二月 日正午出帆

仁川海岸町十一丁目 電話 堀 回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神阪行 ○大有丸 二月十三日後四時出帆 ○秀吉丸 二月八日後四時出帆 ○君が代丸 二月六日後四時出帆 ○土海丸（臨時） 二月 日後四時出帆

仁川海岸通三丁目 電話五十九番 杉 回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 關東都督府命令航路 第十共同丸 二月四日正午出帆 一月卅一日午後入港

朝鮮鐵道主要驛にて和客連絡乘車券發賣大連にては寄港地行定期船と連絡取扱可仕候

阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番）野口商會 元山代理店 春日町（電話二四四七番）田口回漕部 京城取次店 南大門（電話二八〇一七）河村運送店

朝鮮郵船出帆

○金剛丸 ○京城丸 ○鎮海丸 ○咸鏡丸 二月十八日／十九日 釜山發
○城津丸 ○平安丸 ○昌徳丸 二月六日 元山發
○咸平丸 元山より各港經由雄基行 二月 日 元山發
○永興丸 二月五日 釜山發
○江原丸 長生浦方魚津寄港 毎日 浦項發
○三浦丸 長承浦、統營、木浦各港寄港 二月 日 釜山發
○海州丸 ○巨濟丸 ○慶尙丸 毎日 釜山發
○平安丸 二月 日 元山發
○順天丸 二月 日 木浦發
○慶興丸 二月七日 木浦發
○鎮南丸 二月六日 木浦發
○公州丸 二月八日 仁川發
○江原丸 二月 日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 二月十一日／十七日 仁川發
○全羅丸 毎日午前 仁川發

本社 電話一九五二番二三三一番 京城南大門通松原運送店

大阪商船仁川出帆

○淸州丸 群山、神戶、大阪行 二月 日後五時出帆
×群山丸 群山、木浦、釜山、關門、神阪行 二月廿一日正午出帆
○大智丸 二月十二日後五時出帆
×油頭丸 二月十五日後五時出帆
◎安東丸 二月 日後五時出帆
○木浦丸 釜山、關門、神戶、大阪行 二月二十日正午出帆
×信濃川丸 二月九日正午出帆
○安東丸 二月 日後二時出帆
×湖南丸 二月十六日
×臺東丸 二月十二日
○大連直行 信濃川丸 二月十六日正午出帆
×安東丸 二月五日正午出帆
○湖南丸 二月八日正午出帆
×臺東丸 二月 日
○淸津、西湖津、城津行 二月廿三日後十二時出帆
▲印平丸 二月九日
▲安平丸 二月四日正十二時出帆
▲宮島丸 二月八日
○上海、芝罘、打狗行（大連出帆） 二月廿四日前六時出帆
×北陸丸 二月八日
×大山陽丸 二月 日

御注意 切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇五〇番 内國通運會社支店 電話七〇八番

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行 日後五時出帆
小倉丸 浦鹽行 日後五時出帆
立神丸 月 日後十時出帆
小山丸、淸津、浦鹽行 月 日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行 月 日後六時出帆
第三平安丸 門司、宇品、神戶、大阪行 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部